

創立 30 周年 記念



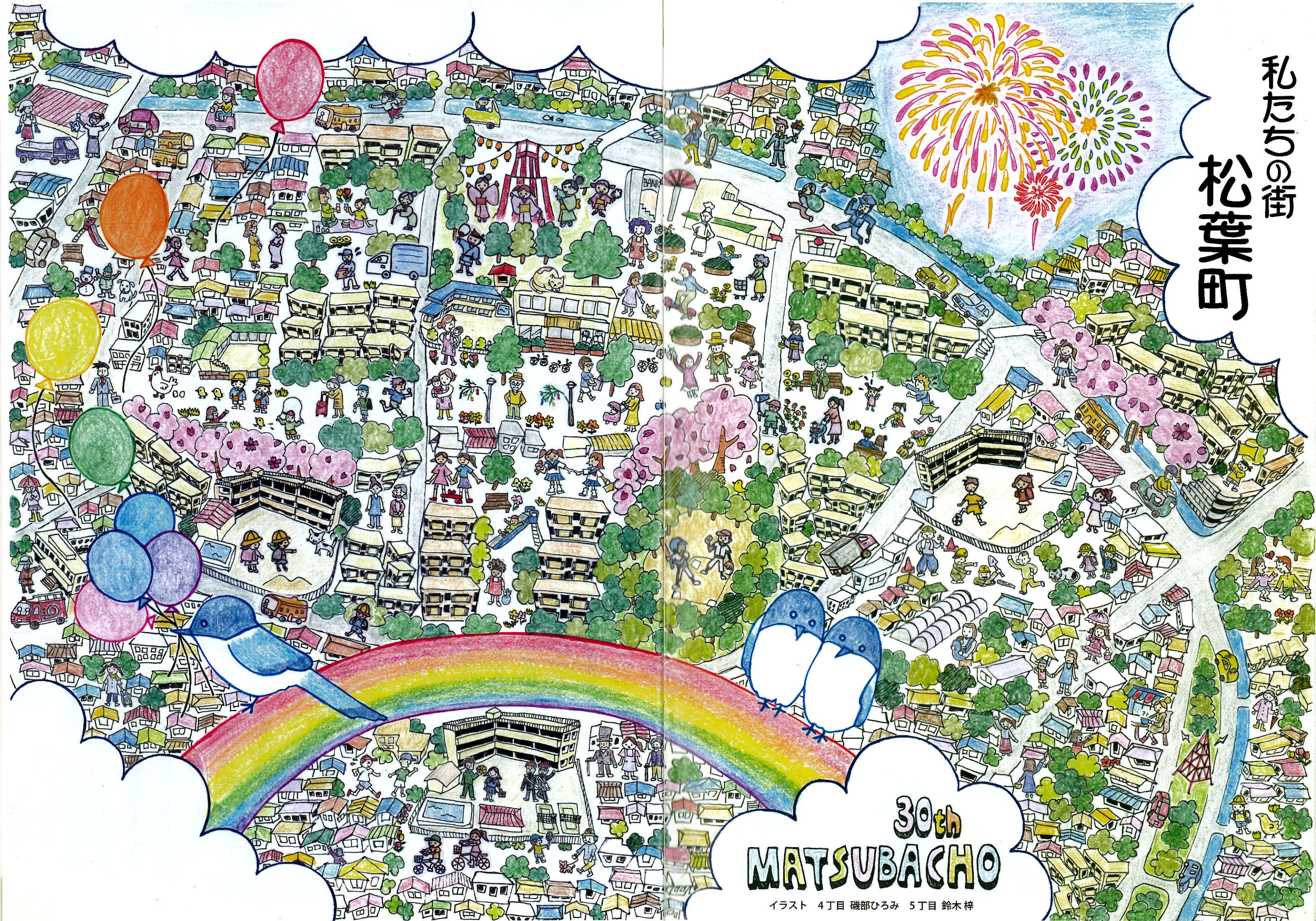
松葉町

平成 27 年 2 月

松葉町地域ふるさと協議会

私たちの街

松葉町



30th
MATSUBACHO

イラスト 4丁目 磯部ひろみ 5丁目 鈴木 梓

祝 辞

柏市長 秋 山 浩 保



松葉町地域ふるさと協議会が創立三十周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、毎年夏に盛大に行われる「松葉町ふるさと祭り」、一昨年前にオープンしたコミュニティカフェ「ご縁カフェ『まっばR』」への甚大なる支援など、様々な地域活動、住民交流にご尽力され、三十年という長きにわたり、松葉町地域が発展しておられることは、誠に喜ばしい限りです。

これも、秋元会長をはじめ歴代役員の皆様のご尽力の賜であり、心より敬意と感謝を表す次第です。

柏市は昨年、市制六十周年を迎え、市民の方々が、地元への愛着を一層感じるここのでできる地域づくりに取り組んでおります。町会、自治会、ふるさと協議会といった地域のコミュニティ活動があるからこそ、そのような取り組みが行えます。そのためにも地域と行政のより良い関係を築くことが重要となってきます。市と致しましても、それぞれに節目の年を迎え、貴協議会とのパートナーシップを見直し、改めて、大切に育てていきたいと考えています。

結びに、松葉町地域の皆様の活動が、これまで以上に活発なコミュニティの構築に寄与されるものと心より期待申し上げますとともに、松葉町地域ふるさと協議会のますますのご発展、更なる飛躍を祈願いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご 挨拶

松葉町地域ふるさと協議会
会 長 秋 元 康 雄



松葉町地域ふるさと協議会は、この度三十周年を迎えました。私達の活動を支え、地域の発展のためにご尽力をいただいた、諸先輩の皆様にご心よりお礼を申し上げます。おかげさまで、ふるさと祭り、文化祭はじめふるさと協議会主催・共催の様々なイベントや防災活動、そして町会を中心とした防犯活動等、松葉町は柏市の中で最も地域活動が盛んな地域の一つになっています。日本全国から集まった人々が、松葉町を第二の「ふるさと」にしようと築き上げてきたこの誇らしい伝統を、現在活動を担っている我々が、さらに充実したものにして行く責任を重く感じているところです。

一方、三十年前に働き盛りであった人々も年をとり、子供達も独り立ちして地域を去り、現在では柏市の中でも最も少子高齢化の進んだ地域の一つにもなっています。このため、お年寄りにも優しい町、子育て中の若い世代にとって住みやすく、新たに人々が集まってくる町にしようと、「助け合い」活動や「地域で子供を育てる」活動にも取り組み始めています。また、特に3・11東日本大震災以降地域としての更なる防災活動への取り組みが要求されており、地域自主防災組織連絡会を中心に、ふるさと協議会も一体となって取り組んでいるところです。

地域の力を結集して、松葉町をさらに住みやすい町にしていく所存ですので、今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、松葉町のますますの発展と皆様のご健勝をお祈りしてご挨拶いたします。

祝辞

松葉町商店会協同組合

理事長 古田 康郎

創立三十周年誠におめでとうございます。
住み良い地域づくりを推進することを目的とした柏市独自の「ふるさと協議会」は地域住民にとつては大きな役割を担っていることは言うまでもありません。

設立当初の新興住宅地だった頃から比べますと成熟し、確かに我々も歳をとりました。松葉町も本場の故郷になり、夏祭りや、お正月には子供達が帰ってくるような街になりました。皆、松葉町が大好きです。

これは、松葉町地域をいかに良くしていこうかと、各町会・自治会・各種団体等と連携しつつ、また調整役として長年ご活躍いただきました歴代の役員の皆様方のおかげです。

その時々ニーズに合わせ、防犯に力を入れたり、最近では年代と共に福祉の活動にも目を見張るものがございます。特にあの震災後には、すぐに自主防災組織を立ち上げ地域一体となった防災訓練を行うなど、常にお互い顔の見える安心した街づくりを進める活動には敬意を表します。

我々商店会はこれからも、お互い松葉町を愛するものとして、知恵を出し合い、助け合っている体制を今まで以上に築いていければと思っています。

今後の「松葉町地域ふるさと協議会」が益々で発展されることを心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

松葉町地域ふるさと協議会

元会長 藤田 武志

松葉町地域ふるさと協議会創立三十周年まことにめでとうございます。平成二十五年五月まで当協議会の歴史の半分にあたる十五年間役員として在籍した私にとり、この間多くの方との出会いもあり非常に感慨深いものがあります。

例えば在職中、主な事業としてホテルオークス跡でのホームレス宿泊所建設の阻止、松葉町で初めての運動会の実施、松葉地区社会福祉協議会との一本化、松葉町地域活動センターの開設、松葉町地域の活性化を図るべく「コミュニティカフェ」の開業などがありました。これらはひとえに松葉町地域の皆様のご理解、ご支援ならびに柏市地域支援課を始めとする柏市の関係部署、柏市社会福祉協議会のご指導の賜と感謝申し上げます。協議会の歴代役員、委員の皆様のご尽力があったことを忘れてはなりません。

協議会を取巻く環境は、核家族化による子育ての問題、高齢化の進行に対する福祉施策の必要性と困難な問題が多く存在しています。特に松葉町の人口構成から今後十年から十五年後には超高齢化の時代がやってきます。幸い、今年度から協議会の事業の中に関係団体との連携による子供に対する事業、高齢者対策の一環として「たっちの会」によるごみ出し事業が実施されています。どうか今後ともふるさと協議会が中心となり高齢者に対する優しい環境、子育て世代に対する住みよい街にしていきたいとさせていただきますようご期待申し上げます。

最後になりますが、松葉町地域ふるさと協議会の今後四十年、五十年とますますの発展、皆様のご健勝、ご多幸を祈念申しあげる次第です。

祝辞

松葉中央商店会

会長 高山 和幸

松葉町地域ふるさと協議会創立三十周年、誠におめでとうございます。歴代の会長を初め役員の方々の努力、そして賛同して松葉町をいかに住み易く美しい環境の良い町にしようと取り組んでこられた先輩の方々には敬服する思いです。

八月のふるさと祭りに於いては協議会を中心に商店会、住人、それに関わる大勢の人が一体となり、統制のとれた町内イベントとなっています。

そして、当中央商店会も参加させていただき、日頃、お世話になっております地域の皆様と一緒に活動することにとっても喜びを感じます。

一昨年は、空き店舗対策として施設所有者と当商店会を含め松葉町ふるさと協議会が主体となり柏市役所の支援をいただき、地域活性化の拠点作りを目的とするコミュニティカフェ「まつばR」を開業する事が出来ました。

高齢化の進んだ松葉町において一人住まいの方々から外出するきっかけ作りに飲食であったり会話を楽しむ場であったりと大勢集まって頂ければ良いと考えております。

松葉町は市内においても自然に囲まれた、お子様からご老人に至るまで安心して暮らせる緑の多い町です。

商店会としても、いつ行っても花が咲いていてゴミも落ちていない環境作りに取組み、住民の皆様に親しまれる商店街作りに努力していきたいと思っております。

今後、より住み易い街作りに協議会が活躍される事を心から願ってお祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

松葉近隣センター

所長 中山 善太郎

松葉町のまちづくりは、何より活発な住民自治の下に行われていることにあります。まちづくりを進めていく中で大切なことは、みなさんがくらしの中で課題を発見し、それを現場で解決していく実践力にあります。

この地域にお住まいのみなさん一人ひとりが、生活基盤である松葉町の現状を見つめてきました。改善策を試行錯誤の中から発見し、ベストな答えを見つける努力を惜しまず、日々の実践を積み上げながら、地域組織やまちづくり計画を組み立てるサイクルを創りあげてきました。

協働とはまさにその将来形成のための活動であり、共同責任を構築していくプロセスです。

ふるさと協議会はその中核として重要な役割を担っていることはいくまでもありません。

これから先、少子高齢化社会が本格化します。この困難な課題を解決していくためには、行政の対応はもとより、地域のみなさんの自立的な活動をいかに創り出していかけるかが問われます。現在、松葉町地域では、福祉や教育、経済、防犯防災、文化といった分野で、地縁を通じたNPOやボランティア等の様々な地域団体が、各々の分野で課題解決に取り組んでいます。松葉町地域はこれまでの歩みから、一定の成果を収め、地域や家庭からも充実感をうかがうことができます。

こうして育まれてきた松葉町意識の変化がこの時点で一体化し、次なる行動を呼び起こし、地域の発展というかたちに再生されるものと期待しております。

今後も、松葉町地域での人的資源を基盤とした新しいまちづくりの成果が継続していくことを期待してやみません。

松葉町地域ふるさと協議会三十周年おめでとうございます。

我がふるさと松葉

土屋 基

私が二歳の時に松戸から松葉町に越してきてから二十八年目を迎えますから協議会の歩みとほぼ重なると思います。

その間にいろいろな思い出がありますが、一番の思い出は松葉二小の六年生の時に運動会で応援団長を務め総合優勝を勝ち取ったことです。当時はマンモス校だったので、青空にこだました五〇〇人を超える紅組の仲間の歓喜の声を今でも忘れることができません。

松葉中を卒業し、高校は市川、大学は東京、職場も東京と柏を離れましたが、夜半に電車でピルのそばえ立つ東京から江戸川を渡り、松葉の町に帰ってくると「うさぎ追いかの山」ではなく、「団地と緑」の町松葉ですが、なぜかほっとします。

きつとこの町が私にとって思い出がたくさんつまつた「ふるさと」だからだと思います。

そんな松葉の益々の発展を祈念いたします。

ずっと残したい松葉町

松葉第一小学校六年

平澤 航生

夏が近づくと毎年、僕は楽しみにしている事がある。それは、松葉町のふるさと祭りだ。

地区ごとにお祭りの準備を始める。おみこしを作ったり盆踊りの練習をしたり、暑い中、地域の人が一体となって本番へ向けて準備が進められる。多くの人の手によってお祭りが開催される。そして、本番!! 朝からおみこしの笛が町中に鳴り響き、胸が高鳴る。夕方からは太鼓の音や盆踊りの曲で会場が一気に盛り上がる。友達との楽しい時間である。大人になっても続いて欲しいな。

松葉町は公園がたくさんある。放課後、友達と遊んでいるなじみの公園。大人も子供もふれあいの場所になっている。朝の登校や下校のパトロールで大人が安全を見守ってくれている。

松葉町の由来は「松林が多く松の緑の清潔さ、力強さがあること。」地域みんなの温かさ、元気で活気のある松葉町をいつまでも残していきたい。

柏市立松葉第一小学校
創立昭和56年4月1日
児童数.....178名
学級数.....6学級



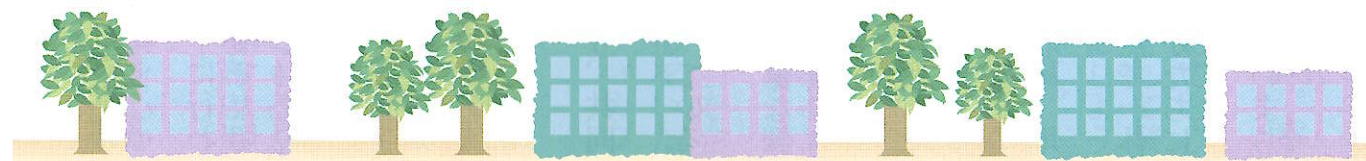
家族の町 松葉町

喜多村 麻美

私は、ほとんど記憶がないほど小さなころから社会人になるまで松葉町で過ごし育ちました。家族で過ごした記憶と重なるためか、また家族連れが多い街の雰囲気のためか、松葉町のように団地が広がる住宅街を訪れると、家族が住む場所というイメージとともに、何とも言えない安心感を覚えます。

松葉町に住んでいたころを振り返ると、家の前の遊歩道で父に押してもらい初めて自転車に乗れた日のこと、夕立のなか兄が近隣センターまで傘を持って迎えに来てくれた日のこと、毎日母とスーパーでお買物をしたこと、松葉町ふるさと祭りに毎年浴衣を着て出かけたことなど、家族や友人と過ごした松葉町での日常のシーンが私の大切な思い出になっています。

街路樹も大きく育つほどに時間が流れ、街の環境は少しずつ変わっていきますが、これからも松葉町がそれぞれの家族にとってあたたかい街でありますように。



安心・安全・楽しい松葉町

松葉第一小学校六年

澁谷 若夏菜

「おはようございます」毎朝、学校へ行く時に必ずあいさつをしてくれるおじさんがいます。私にいつも、あいさつしてくれるおじさんは、ご近所の方や登校時にパトロールをして下さっている方たちです。

土曜日の夜九時には、「火の用心」の音が聞こえてきます。私が毎日安全に過ごしているのは、松葉町の方が、見守って下さっているからだと思います。

ほかにも私が松葉町に住んでいて良かったと思うことは、夏祭りや餅つき大会、演奏会などが行われることです。

私は行事を楽しみにしています。が、その行事を計画している方、支えてくれる方がいるからだと思えて気がきました。

松葉町は私達の事を大切に思ってくれる人がたくさんいる町だと思います。これからも安全に楽しく過ごせる町が続いて欲しいです。

僕の大好きな松葉町

松葉第二小学校六年

中澤 桜太

僕が住んでる松葉町にはたくさんの人が住んでいます。僕が朝、登校している時や学校が終わって遊びに行く時にも近所の人達があいさつをしてくれたり、声をかけてくれるので安心します。

松葉町はとてもきれいな町です。おじさんやおばさん達が朝パトロールしてくれている時や散歩している時にもゴミ拾いをしてくれているからです。町の皆さんのおかげで僕はとても気持ちよく暮らせています。みなさん、いつもありがとうございます。

松葉町には楽しいことがいっぱいあります。毎年大勢の人が集まるふるさと祭りやもちつき大会があります。僕は夏祭りのおみこし大会を毎年楽しみにしています。赤ちゃんと年寄りの方までみんなで団結して大きな声で「わっしょい！」と町内をまわります。最優秀賞をもらった年は本当にうれしかったです。僕はこの松葉町が好きです。大好きです。

柏市立松葉第二小学校

創立昭和57年4月1日

児童数……………231名

学級数……………11学級



花や笑顔のあふれる町に

松葉第二小学校六年

木村 澄伶

現代の日本は、少子高齢化の時代を向かえています。私が住む松葉町でもお年寄りの方が増えています。けれども、お年寄りの方がこの松葉町を支えて下さっています。

たとえば、「夏祭り」や「もちつき大会」です。毎年、子供達を喜ばせるために、自治会の方々が心を込めて企画して下さいています。

また、朝登校していると、花壇のお花が目飛び込んできます。私も、二年前家のお手伝いで花の水やりをしていました。とても大変でしたが、見えないところで骨をおられていらっしゃるのだということを実感しました。

私たち小学生も、松二小のスローガンにあるように、「花」「や」「笑顔のあいさつ」があふれるような松葉町にしていきたいです。



自慢の町、松葉町

松葉中学校三年

村田 健介

松葉町は、僕のことを心身共に十五年間育て続けてくれています。僕にとってはあたり前すぎる景色の中にも、たくさんの魅力がこの町にはあります。

春の桜や道沿いのきれいな花々、夏のふるさと祭り、秋のけやき通りの紅葉、冬の餅つき大会や大晦日のカウントダウン…。

これらの季節ごとの行事や町の景色は、人と人とのふれあいを多くし、僕達の生活をより楽しいものにしてくれます。

また、防犯パトロールや登下校時のスクールガードなど、僕達が安全に過ごせるような取り組みもして下さり、とても感謝しています。地域の温かいみなさんに支えられ、この松葉町は成り立っているのだと思っています。

これからも住みやすい町であるよう、僕ができる事は小さなことかもしれませんが、少しずつでも恩返しをしていきたいです。松葉町は、僕の自慢の街です。

柏市立松葉中学校

創立昭和56年4月1日

生徒数……………47名

学級数……………3学級



松葉町はとても大切な場所

松葉中学校三年

浅海 成美

私は生まれてからずっと松葉町に住んでいます。自然が豊かな街で小学生の頃は近所の友達とセミやトンボをつかまえて、外で元気に遊びました。

また、地域の方々はとても暖かく親切です。例えば部活の大会が近くなったら「頑張つてね」と声をかけてくれたり、雪が積もった時には、朝早くから雪かきをしてくれたり、私たちは気持ちよく安全に学校に登校することが出来ます。

そんな思いやりのある松葉町は私にとってとても大切な場所です。この松葉町のために今の私ができることは、良い環境を作ってくれる人に対しての感謝の気持ちを忘れないことだと思います。

そして、私が大人になったら自分から誰かのために声をかけてあげられるような人になりたいです。また、地域の活動にも積極的に参加して松葉町を支えていきたいと思っています。



提供：国土地理院
撮影：昭和54年10月1日
注記：2枚の写真を合成



提供：国土地理院
撮影：昭和30年10月13日



提供：国土地理院
撮影：平成25年2月11日



提供：国土地理院
撮影：昭和59年10月31日
注記：2枚の写真を合成

昭和54年(1979年)
松葉町誕生

昭和55年(1980年)
このころより入居開始 50世帯198人

昭和56年(1981年)
4月・松葉第一小学校開校(178人)
松葉中学校開校(47人)
ピンクレディー解散 窓ぎわのトットちゃん
ロッキード事件「蜂の刺し」北の国から

昭和57年(1982年)
4月・松葉第二小学校開校(231人)
500円硬貨発行 東北新幹線開業 カード式公衆電話設置 上越新幹線開業 北炭夕張炭鉱閉山

昭和58年(1983年)度
9月・町会・自治会・管理組合の代表者会議
11月・松葉町近隣センター設立準備協議会発足
東京デイズニールランド開園 老人保護法 大韓航空機墜落事件 ファミリーコンピュータ発売

昭和59年(1984年)度
9月・松葉町地域ふるさとづくり協議会が発足
12月・近隣センター設置要望書(8300人の署名)を市長に提出
全閣僚の資産初公開 エリマキトカゲ グリコ・森永事件 衛星放送開始 新紙幣登場

昭和60年(1985年)度
8月・納涼映画会
10月・第1回松葉町芸能フェスティバル
12月・手賀沼汚染を考える会
2月・市長・市幹部と地域座談会
3月・布施弁天にハイキング(250人参加)
新国技館落成 科学万博つくば開催 NTT、日本たばこ産業発足 日航機御巣鷹の尾根に墜落

昭和61年(1986年)度
5月・第1回グラウンド・ゴルフ大会
6月・柏市ゴミゼロデー
9月・敬老会

2月・大型店対策特別委員会発足(マルエツ) 男女雇用機会均等法施行 ダイアナフィーバー 地上げ屋暗躍 土井たか子初の女性党首

昭和62年(1987年)度
7月・第1回代議員総会
10月・近隣センターオープン・使用開始
11月・敬老会
スーパードライ発売 国鉄民営化 日本人の平均寿命世界最高水準 世界人口50億人突破

昭和63年(1988年)度
8月・第1回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会
11月・第1回松葉町文化祭
2月・市へ陳情①アサヒビール工場前の交通渋滞

平成元年(1989年)度
②JR北柏駅階段増設
マルエツ北柏店開店 青函トンネル開通 東京ドーム落成 マル優制度廃止 瀬戸大橋開業 天皇病気で自粛ムード

平成2年(1990年)度
5月・市と警察へ陳情①テニスコート横に信号機設置②2丁目バス通り駐停車禁止
8月・第2回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者247人)
11月・第2回松葉町文化祭
11月・松葉町誕生10周年記念式典
天皇崩御 新元号を「平成」と決定 天安門事件 消費税スタート「ベルリンの壁」崩壊

平成3年(1991年)度
6月・松葉町商店会協同組合、両小学校と共同で街角に花を植える
8月・第3回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者256人)
11月・第3回松葉町文化祭
2月・第1回福祉講演会
大学入試センター第1回試験実施 ドイツが国家統一を回復 長崎県雲仙・普賢岳が噴火



櫓を囲んで踊る人、見る人 (平成18年)

「夏祭り」協議会で主催
今から27年前、中央商店街がマルエツの前で行っていた盆踊りを協議会といっしょに行う事になり、松葉町商店会にも協力をお願いして、今の場所に「ふるさと祭り」として行う事になりました。
8月の初めは田舎に帰ったり、旅行する人が多いとおもわれるので、8月最終の土日にしましたが、雨が降ったりして大変だった思い出があります。台風が来るとの事でテントをたたんだり、櫓を縛ったりの大変な作業を役員で行い、祭りの翌日には役員が朝早くから、広場の掃除や、ゴミ置き場での仕分けなど暑い中での作業でしたが今では懐かしい思い出です。月曜

看板も資料も手書きで
設立当時は事務局には何もありませんでした。今みたいに備品もなく、議事録、総会資料も手書きです。ワープロを購入できたときは、嬉しかったのを鮮明に覚えています。それから印刷機、コピー機と増えていきました。祭りの立て看板(バス停等)は手で書き、数を数え続け、アーチの看板も、当時の会長が、会社帰りに事務所で大工仕事をして作り、大筆で書き上げたものでした。
役員会、事務局員もまだ若く、40歳なかば位でした。新しい街、松葉町のためサラリーマンでありながら土、日はすべてボランティアに徹していました。皆が一生懸命作り上げていったのです。予算がないので、皆から食料費を集金し、手作りの昼食をしたのが、心休まるチームワークでした。
3丁目 高橋恵子



第3回から9回までのみこしコンクールは野球場で開催。毎回1000人以上の子どもがみこしや山車で参加しました

昭和54年(1979年)
松葉町誕生

昭和55年(1980年)
このころより入居開始 50世帯198人

昭和56年(1981年)
4月・松葉第一小学校開校(178人)
松葉中学校開校(47人)
ピンクレディー解散 窓ぎわのトットちゃん
ロッキード事件「蜂の刺し」北の国から

昭和57年(1982年)
4月・松葉第二小学校開校(231人)
500円硬貨発行 東北新幹線開業 カード式公衆電話設置 上越新幹線開業 北炭夕張炭鉱閉山

昭和58年(1983年)度
9月・町会・自治会・管理組合の代表者会議
11月・松葉町近隣センター設立準備協議会発足
東京デイズニールランド開園 老人保護法 大韓航空機墜落事件 ファミリーコンピュータ発売

昭和59年(1984年)度
9月・松葉町地域ふるさとづくり協議会が発足
12月・近隣センター設置要望書(8300人の署名)を市長に提出
全閣僚の資産初公開 エリマキトカゲ グリコ・森永事件 衛星放送開始 新紙幣登場

昭和60年(1985年)度
8月・納涼映画会
10月・第1回松葉町芸能フェスティバル
12月・手賀沼汚染を考える会
2月・市長・市幹部と地域座談会
3月・布施弁天にハイキング(250人参加)
新国技館落成 科学万博つくば開催 NTT、日本たばこ産業発足 日航機御巣鷹の尾根に墜落

昭和61年(1986年)度
5月・第1回グラウンド・ゴルフ大会
6月・柏市ゴミゼロデー
9月・敬老会



3丁目から第五水源地を望む(昭和46年) エイム 齋藤敏文

松葉町の夜明け
急激な都市化の渦中にあった昭和42年、10万平方メートルの住宅団地計画が持ち上がった。当時、私は柏市役所で松葉町開発の担当をしていました。山澤市長は、持ち家住宅を主体とし、充分な都市空間を確保した緑豊かな街づくりを条件に住宅公園と交渉した。区画整理方式による街づくりを公団が行い、市は用地取得に協力することになった。
谷津田を挟んで、緩やかな畑と山林が散在し、文京区の野球場がある田園であった。施行面積は100万平方メートルを予定し、60%を目標に用地買収することになり、地主代表の北柏地区開発協



現在の第五水源地と4丁目、5丁目の団地 5丁目 園田康太

議会の支援を頂いたが、地区によっては説明会や個別交渉で難航したこともかなりあった。
筆者はその後、再開発事業へ配置換えとなったが、この経験は大いに役立った。以来この街に住みたい願望を、元地権者の方に叶えられ、松葉町に魅せられた23年に及ぶ生活が送れたことは、この上ない幸せだったと思っている。
元3丁目 内藤啓生
☆昭和56年、集合住宅の入居の始まり。当初は未入居多く、未完成の街区もありました。
協議会が設立されると、ハイキング、文化祭、夏祭りや矢張り早に行事を行い、人のつながりを作っていくきました。入居者平均40歳代中頃。役員も若く、バイタリティあふれていました。(編)



建設中の近隣センター(昭和61年)

ふるさと協議会の産声
昭和58年、4-2管理組合理事長に「全ての理事長、町会長等を集めて、松葉町の今後についての話し合いをしては」と進言したのが契機となり、4-1事務所で初顔合わせをした。その間、柏市に「ふるさと運動」があることを知り、市を訪問。協議会を設立すると近隣センターが建設されることも知る。以降、市の指導を得ながら、同年に設立準備会が立ち上がった。苦勞の末、59年に協議会が設立された。
近隣センターの設計が進むにつれ、当協議会としての希望や意見を取り入れてもらいながら、62年に完成した。当時のことを知る人の多くが転居したり、鬼籍に入られて記憶も薄れ資料も散逸してしまった。30年は長いようで短い。
4丁目 大蔵隆史

北海道七飯町観光物産展
1月・協議会創立10周年記念式典、記念誌発行
2月・第4回松葉町チャリティーゴルフ大会
製造物責任法成立 松本サリン事件 日本人女性初の宇宙飛行士 関西空港開港 年金改革法成立
平成7年(1995年)度
5月・4自治会が加入して17町会になる
・一丁目第三団地管理組合
・グランヴィル松葉自治会
・コープタウン北柏自治会
・北柏ライフタウン住宅
8月・第8回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者405人)
12月・年末カウントダウン
2月・市へ「地域コミュニティ計画書」を提出
・節分豆まき大会
3月・第5回松葉町チャリティーゴルフ大会
(松葉町基金運営委員会発足)
・一丁目第一町会のふるさと会館オープン
阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 ボランティ
ア元年 「ギャル現象」 「Windows 95」発売
平成8年(1996年)度
4月・シバザクラ祭り・歩こう会
5月・エステ・コート北柏自治会加入18町会に
7月・柏まつりに参加
8月・第9回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者432人)
・市主催総合防災訓練に参加
11月・第9回松葉町文化祭
3月・第6回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・バス通りの防犯灯は9年度より設置決定
・小域福祉圏地域ぐるみ福祉ネットワーク
事業推進委員会結成
病源性大腸菌「O157」猛威 ペルー日本大使
公邸人質事件 チョベリバ「たまごっち」発売

全国から松葉町へ
協議会に携わったものの一人として、時の流れの速さと、松葉町が落ち着いたよい街になったと感慨ひとしおです。設立当時のアンケートで、松葉町の方の出身地は、北は北海道から南は九州沖縄まで全国にまたがっていることが分かりました。いわば松葉町は日本の縮図でもあり、当然住民のものの考え方も多様であり、人々のつながりも新しく創っていくことになりました。
30年経った今、このことを思い出しながら、松葉町に永く住んでいて、住民の温もりと人とのつながりの良さを感じます。しかし、松葉町も高齢化は避けられず、これからの大きなテーマとなっています。
この度「まつばR」の設立に参画して、自分を含めて高齢者の憩いの場になることを願っています。
5丁目 高田保典
手づくりの文化祭
松葉町文化祭は近隣センター内を使用している書道・写真・絵画・手芸・華道・陶芸等の展示、お茶席、囲碁・将棋大会、各委員会の協力で玄関ホールから廊下および階段に至るまで使用しての啓蒙活動、さらにアリーナにおいては、



子供も大人も参加した文化祭(平成4年)



平成3年(1991年)度
8月・第4回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者288人)
11月・第4回松葉町文化祭
・市と警察へ街路灯と信号機設置を陳情
12月・東武バスと懇談会
・伝承遊び大会(こま作り)
2月・第1回松葉町チャリティーゴルフ大会へ協力(商店会有志主催)
3月・第1回ふれあいのど自慢大会
湾岸戦争始まる ミソが戦略兵器削減条約調印
ソ連共産党解散 台風18、19号吹き荒れる
平成4年(1992年)度
6月・市に陳情 地域開発による道路等整備、北柏駅階段増設など4件
8月・第5回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者305人)
11月・第5回松葉町文化祭
3月・ふれあいのど自慢大会
・第2回松葉町チャリティーゴルフ大会
学校週5日制 晩時計「Gショック」発売
天皇初の中国訪問 ほめ殺し だぼだぼルック
平成5年(1993年)度
8月・第6回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者337人)
11月・第6回松葉町文化祭
3月・第3回松葉町チャリティーゴルフ大会
・ひとり暮らしの方を囲む花見会
その他・松葉地区に保険推進員設置
Jリーグ開幕 皇太子と小和田昌子さん結婚
38年ぶりの非自民党政権 ジュリアナ現象
平成6年(1994年)度
5月・陳情実現 JR北柏駅階段増設工事開始
8月・第7回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(対象者362人)
11月・第7回松葉町文化祭



それぞれの特色を生かした商店街

活気あふれた創業期
松葉町中央商店会は、今年で34年目を迎えました。振り返ると商店会発足から残っているのは、2店舗となりました。松葉町の人口増加に伴い活気があり何よりも各個人の店主スタッフが若かった時代。仕事以外での密な交流も懐かしい思い出になりました。
話題にするに懐かしい店舗も数多くありました。焼きたてのパンを宅配する店、おにぎり屋、そば屋、当店は、夕食を作った頂いた和食の店、関西弁で「出来とるぜ」と毎日言いに来てくれた名物おじいちゃん。長嶋監督に似ていた支店長のおられた京葉銀行。松葉町の夏祭りの時には自店の他に1店出店することを決め、自店の商売以上の盛り上がりがありました。マルエツと商店街の間には噴水があつて祭りの翌日には金魚がたく

さん泳いでいたことを思い出します。
今後の中央商店会の課題としては空き店舗、環境整備、世代交代による若手の台頭に期待していきたいと思っています。
松葉中央商店会 高山和幸
商店会も街づくりに参加
松葉町商店会協同組合は、前身は昭和56年に任意商店会として発足し平成2年に現在の法人組織になりました。協議会との関わりあいの中に、平成3年から松葉町ふるさとまつりの花火の打ち上げを2日間にわたり当会が行っていることと、平成4年から始まった松葉町地域チャリティーゴルフ大会は協賛及び運営委員を出し協同で開催しています。恒例となっているこの二つの行事は、両者が互いに協力し両輪で回っていることで開催できるものと思っています。
平成18年には県・市の助成を受け松葉町イメージソング「ラ・ラ・ラまつば」を制作しました。この歌詞の中に、「けやきトンネル見上げたら広がる希望の空」と唄っているように、子供たちがふるさとと誇れる様な地域づくりに当商店会も微力ながら貢献していきたいと思っています。
松葉町商店会協同組合
前理事長 齋藤敏文



子供たちも参加グラウンドゴルフ(平成4年)



「森のコンサート」(平成10年)

☆祭りと同時に「森のコンサート」が開催された。マルエツ横の森の中で、松葉中学吹奏楽部によるコンサート。木陰の音楽も中々のものであった。
(編)

平成9年(1997年)度
8月・第10回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(268人参加)
11月・第10回松葉町文化祭
3月・第7回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・12町会が自主防災組織設立
三井三池炭鉱閉山 消費税3%から5%へ
香港が英国から中国に返還 パラリンピック

平成10年(1998年)度
5月・県より全国宝くじ分配金の交付(和太鼓、野外放送機、コピー機などを購入)
7月・七夕祭り
8月・第11回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(158人参加)
10月・防災避難誘導および防火訓練
11月・第11回松葉町文化祭
3月・第8回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・松葉町地域防災連絡会議
地区社協設立準備委員会
明石海峡大橋開通 企業倒産1万7439件
サッカーW杯日本初出場 映画「タイタニック」

平成11年(1999年)度
8月・第12回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(主催・松葉町地区福祉ネットワーク事業推進委員会 189人参加)
11月・第12回松葉町文化祭
松葉町地域ふれあい大運動会(協議会結成15周年記念行事340人参加)
3月・第9回松葉町チャリティーゴルフ大会
基金より電動車いすと保管庫購入
「地域振興券」交付 世界人口60億突破 五体不満足 カリスマ リベンジ ヤマンバ AIBO

平成12年(2000年)度
8月・第13回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(主催・松葉町地区福祉ネットワーク事業推進委員会232人参加)

平成13年(2001年)度
11月・第13回松葉町文化祭
3月・第10回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・街路灯の増設を陳情
北海道有珠山噴火 ストーカー規制法成立 三宅島雄山噴火 2000円札発行 BSデジタル放送

平成14年(2002年)度
4月・第11回松葉町チャリティーゴルフ大会
7月・松葉町地区社会福祉協議会発足
8月・第14回松葉町ふるさと祭り
9月・松葉町地区敬老会を祝う会
11月・第14回松葉町文化祭
1月・県西部防災センター見学会
水産高校実習船が米原港と衝突 情報公開法施行 米同時多発テロが発生 イチロー米大リーグ登場

平成15年(2003年)度
8月・第15回松葉町ふるさと祭り
9月・七都府合同防災訓練(柏の葉公園)に松葉町から137人参加
11月・第15回松葉町文化祭
3月・第12回松葉町チャリティーゴルフ大会
松ヶ崎のショッピングセンター建設に伴う交通問題(道路計画、信号機設置等)で市に要望書提出
欧州で「ユーロ」流通開始 住基ネット稼働 小泉首相、北朝鮮訪問 日韓サッカーW杯開催

平成15年(2003年)度
・無料定額宿泊施設に関する計画見直し要請の請願書を市長と議長に提出
3月・第13回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・犯罪の増加により6丁目町会が防犯パトロールを始める
・協議会がホームページを立ち上げ
「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞受賞 個人情報保護法成立 マニユフェスト オレオレ詐欺



巨大なかがり火の下で
新年を迎える(平成10年)

ふれあいの「灯火」は
いつまでも

松葉町に転居して早34年。入居当時は、大型店舗は無し、近隣センターも無し。日常の生活必需品の一部は柏駅まで行かねばなりませんでした。松葉町地域ふるさとづくり協議会が結成され、公園や市役所等に足を運んで改善を進めて来ました。松葉町は全国に故里を持つ人が集まっています。その皆さんの「ふれあいの場を」夏祭り、春の芝桜祭り、七夕祭り、運動会、カウントダウン祭り、節分祭りなどを行って来ました。カウントダウン祭りは、最初は五丁目自治会が年越しの祭りをする会としてはじめ、三年目に協議会が主催、市役所も全面協力、高さ5メートルの巨大なかがり火を作ってくれたほか、職員も手伝ってくれました。若い人たちが参加盛んになりました。十数年前から五丁目自治会主催で続けております。

役員も、世代交代していきます。発想も変化しますが、松葉町住民のふれあいの「灯火」だけは消えないよう、ご祈念いたします。

5丁目 三浦里治

事務局で教えられたこと

長い間、事務局でボランティアとして過ごして来ましたが、そこで人のつながりを教えられた様に思います。核家族になると人の接点も少なくなりますが、ボランティアで人の中におりますと、知らない人、年代の違う人との接点が出来、人のつながりのおもしろさを感じます。

事務局に入った当時の会長の三浦里治さんに「頑張つてやって下さい。何かあった時は会長の私が責任をとりますから」と背中をポンと押してもらった様な心強い言葉を頂いたのを、今でも思い出しております。

事務局は各行事の根っこ部分で働いておりますので、地味ですが誰かの為に動いている、力になっていると思えば又、味のあるものです。あまり敬遠しないで事務局の中に入ってみて下さい。楽しい会話、笑いのある時間が持てますよ。その楽しみを味わうと、人生も又楽しからずやと思えるのではないのでしょうか。

4丁目 戸田幸子



老人会の協力で七夕飾りを作る



高齢化者化に向けて介護の体験



平成9年(1997年)度
8月・第10回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(268人参加)
11月・第10回松葉町文化祭
3月・第7回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・12町会が自主防災組織設立
三井三池炭鉱閉山 消費税3%から5%へ
香港が英国から中国に返還 パラリンピック

平成10年(1998年)度
5月・県より全国宝くじ分配金の交付(和太鼓、野外放送機、コピー機などを購入)
7月・七夕祭り
8月・第11回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(158人参加)
10月・防災避難誘導および防火訓練
11月・第11回松葉町文化祭
3月・第8回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・松葉町地域防災連絡会議
地区社協設立準備委員会
明石海峡大橋開通 企業倒産1万7439件
サッカーW杯日本初出場 映画「タイタニック」

平成11年(1999年)度
8月・第12回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(主催・松葉町地区福祉ネットワーク事業推進委員会 189人参加)
11月・第12回松葉町文化祭
松葉町地域ふれあい大運動会(協議会結成15周年記念行事340人参加)
3月・第9回松葉町チャリティーゴルフ大会
基金より電動車いすと保管庫購入
「地域振興券」交付 世界人口60億突破 五体不満足 カリスマ リベンジ ヤマンバ AIBO

平成12年(2000年)度
8月・第13回松葉町ふるさと祭り
9月・敬老会(主催・松葉町地区福祉ネットワーク事業推進委員会232人参加)



元気な人が多い敬老会(平成6年)



慣れない手付きですが(平成16年)

と29・5%。柏市の平均を超え老人の町に向かっています。

さて皆さん、「あれから40年」その時はどうなっているでしょう？ 町会、協議会一体となつて今から考えていきましょう。

5丁目 山口達夫

「作る楽しみを」男の料理教室

近隣センターで年二回行っている男の料理教室は、男性の方に料理の基本を習い作る楽しみを知っていただき、一味加わった生活を過ごしていただけるよう支援をしています。参加された方の感想をご紹介します。

「大変参考になりました。これを機会に少し料理を練習して、家族に披露したいと思っています」

「初めての参加で良い勉強になりました。後片付けは家でも時々します」

作品は奥様にプレゼント

おしゃべりサロンは皆さんと出会える楽しい場所です。現在は松葉町1丁目ふるさと会館(偶数月1回)と近隣センター(毎月1回)で開催しています。モノづくりの時には型紙、糊、筆など準備をします。

作品が出来たまでは心配でしたが参加した皆さんが出来上がった作品に満足げでした。男性の参加者は奥さんにプレゼントするとあってにこにこ顔でした。最後にするカラオケは童謡、懐かしのメロディーを合唱しました。手拍子が入って和みました。

ゲームの時は、集中力が必要で少し少力も使います。高齢者にとつてちょうど良い運動になりました。とても楽しいのでもっと多くの人が参加してほしいと思います。

4丁目 安田容子

平成16年(2004年)度
8月・第17回松葉町ふるさと祭り
11月・第17回松葉町文化祭
1月・松葉一小の通学路に、5-1自治会が「松葉あいさつ通り」の看板設置
2月・協議会創立20周年式典・記念誌発行
3月・第14回松葉町チャリティーゴルフ大会
その他・分別ごみ袋説明会
モライジュ柏開店 鳥インフルエンザ発生 北朝鮮拉致被害者が帰国 中越地震発生 気合だー

平成17年(2005年)度
8月・第18回松葉町ふるさと祭り
11月・第18回松葉町文化祭
3月・第15回松葉町チャリティーゴルフ大会
京都議定書発効 JR宝塚線で脱線事故 クールビズスタート つくばエクスプレス開業 萌え

平成18年(2006年)度
4月・桜ライトアップフェスタ
8月・第19回松葉町ふるさと祭り
11月・第19回松葉町文化祭
3月・第16回松葉町チャリティーゴルフ大会
ららぽーと柏の葉開店 米国産牛肉再び輸入禁止 障害者自立支援法施行 イナバウアー

平成19年(2007年)度
5月・「松葉町地域ふるさと協議会」に名称変更
・ふるさと協議会と「松葉地区社会福祉協議会」が合併して福祉事業本部発足
その他・松葉町の市道に「けやき通り」「すずかけ通り」の愛称
郵政民営化スタート 「ねんきん特別便」発送開始 千の風になって 石川遼最年少ゴルフツアー優勝

平成20年(2008年)度
4月・第17回松葉町チャリティーゴルフ大会
8月・第21回松葉町ふるさと祭り
10月・秋のつどい
11月・第20回松葉町文化祭
・ダンブ走行規制の要望を市警察に提出
2月・松葉地区総合防災訓練(783人)
・冷凍餃子から殺虫剤 円高で1ドル100円 三越伊勢丹HD発足 浅田真央世界フィギュア初優勝

平成21年(2009年)度
4月・第18回松葉町チャリティーゴルフ大会
8月・第22回松葉町ふるさと祭り
10月・秋のつどい
11月・第22回松葉町文化祭
12月・松葉地区防災訓練(200人)
1月・交番前交差点に視覚障害者用音声誘導付信号機設置の要望書を市長に提出
新型インフルエンザ感染拡大 裁判員制度施行 皆既日食 民主党政権

平成22年(2010年)度
4月・第19回松葉町チャリティーゴルフ大会
8月・第23回松葉町ふるさと祭り
10月・秋のつどい
11月・第23回松葉町文化祭
・松葉町地域活動センター開設
3月・松葉町自主防災組織連絡会発足
日本年金機構が発足 家畜伝染病口蹄疫問題 小惑星探査機「はやぶさ」地球に帰還 国勢調査実施

平成23年(2011年)度
8月・第24回松葉町ふるさと祭り
10月・秋のつどい
11月・第24回松葉町文化祭
・放射線量測定器貸し出し受け付け開始
3月・松葉地区自主防災訓練(680人参加)
その他・福祉活動の一環として「松葉地区懇談会」を創設



雨の日も風の日も子供達を見守ります

地域の福祉に貢献
松葉町親睦チャリティーゴルフは、平成4年2月に始まりました。ゴルフを通じて住民同士の親睦と絆を結び社会福祉に貢献しようとの趣旨で立ち上げた大会です。
1回目は松葉町商店会、ゴルフクラブ(松商会)の主催で行われ、2回目より各町会・自治会から1名実行委員が選出され、チャリティーゴルフ実行委員会が発足、実行委員会のもとで開催される大会となりました。松葉町ふるさと協議会を始め、地元の商店会、松葉町近隣の商店、団体、個人の協賛を頂き実施されており、今までに22回開催、大会毎に160名以上の参加者があります。

児童の安全登校を支援
松葉一小、松葉二小それぞれの通学路で「横断中」の黄色い旗を振って、登校する児童たちの安全をサポートしているボランティアをご存じだと思います。
地域の交通量増大に対処して、10年ほど前から、松葉一小が保護者の協力を得て、自主的に交通指導を行っています。また、松葉二小の場合は、県の交通安全条例に基づき「千葉県交通安全推進隊」の登録メンバーを主体に、同校PTA役員の協力を得て児童たちの交通指導および誘導・保護を行っています。
柏市内には小学校が49校あり、それぞれの学校が児童の事故防止に神経を使っています。「交通安全推進隊」は年に1回、県内各地域において県警・警察および行政機関



和気あいあいと技を競い合います(平成4年)

内容は個人総合、ベスグロ賞(男女別)、ニアピン賞、町会対抗戦、グランドシニア戦等で、参加された皆さんのチャリティー金は、車椅子の寄贈、中越地震への義援金等、松葉基金を通じて松葉町地域の福祉に活用されています。今では各町会にゴルフ同好会が誕生しており、大会当日は和気あいあいと楽しんでる姿が見られます。

2丁目 根本健治

打ち上げ花火の思い出
今では、すっかり恒例になった夏まつりの打ち上げ花火は、思い出せば二十二年、松葉町商店会協同組合理事長の稲飯さんより、夏まつりをもっと盛り上げるために、「打上げ花火をやってみよう、経費九十万円は商店組合で持つから」と申し出があり、ふるさと協議会役員だった私は、打ち合わせ担当を命ぜられ、商店組合のせまい事務室で計画・準備の打合せに参加しました。



県への許可申請は、場所の面積は、柏市消防署や地元消防団等の協力は得られるかなど不安な点は多々あったが、さらに打上時間に合わせ、柏市長を招待しようと計画。初めての花火は実行され、無事に成功したと思ったが、マルエツ屋上に花火の燃えカスが散乱、お詫びして大掃除。四一管理組合駐車場の車の上にも、燃えカスがいつぱい。四一住民の方からは、赤ちゃんが泣きだして困ったなどの苦情もあり、反省点もたくさんありました。
あれから今日まで夏まつりはその後の役員さん方の尽力のおかげで、毎年盛会で地域の人々にも大変好評で、かつてかわりのあつた私も、大変うれしく感謝しています。

4丁目 末継重利



街の発展と共に交通問題も出てきた(平成5年)

係者による研修会が開かれ、法令に基づく交通誘導や合図の仕方、歩行および自転車利用時の留意事項などの教習を受けています。
この交通安全推進隊は現在、県内に四千人以上が在籍。東葛地域には三百十五人が登録(2014年8月現在)されており、このうち10名が松葉二小学区の通学路で春夏秋冬、天候に関係なく、朝早くから街角に立つて児童や通行人の交通安全に努めています。

4丁目 細見 滋

井戸掘りと池を造る
松葉二小の記念事業
平成19年、松葉第二小学校秋谷校長から開校25周年記念事業の一環として、校内の池の自然環境を整え、川魚などを放し、植物を育てていくために、井戸が必要と依頼されました。地域の有志の皆さんと、丸太で三脚を組み、子供達と一緒に力を合わせてロープを引いては放しの井戸掘りが一ヶ月続きました。子供の地質の学習教材と思い、1メートル間隔で掘った土を保管しました。20メートル掘り下げたとき、地下水の層に当たり、井戸の完成です。
ポンプの台座を作りその側面に全児童が考えた名前「希望の泉」と奉仕活動の皆さんの名前を大理石



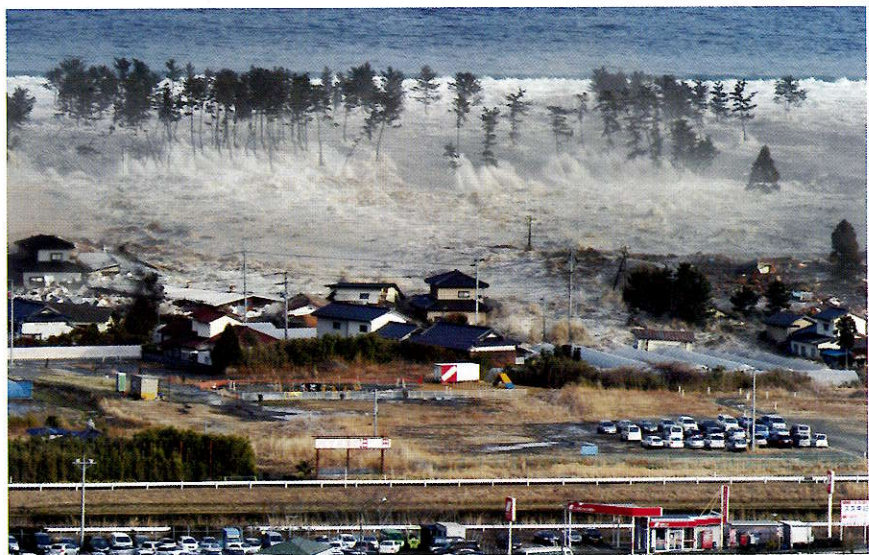
橋を立てて井戸を掘ります

完成した手押しポンプ

石に刻み、取り付けました。長期間にわたる協力者は延べ250人が参加、平均年齢は72歳でした。
平成24年の開校30周年には、池の改修をしてほしいとの要望がありました。池の「フナやメダカ」を別の所に移し、工事が始まりました。地盤が軟弱の為、砕石を敷き耐圧して、鉄筋コンクリート打設後のタイルを張りしました。子供達が考えた池の名前は「未来の水辺」。奉仕活動の皆さんの名前入りの記念石を取り付けてピオトープの完成です。「希望の泉」と「未来の水辺」の完成までには、教職員はじめ子供達、奉仕活動の皆さんで考え、力を合わせました。この成果を輝かしい未来を担う子供達が学習の場として繋いで頂けると幸いです。

2丁目 染谷真一

東日本大震災



津波に押し寄せ家屋をのみ込む大津波（宮城県名取市） 毎日新聞社提供

発生日時 平成23年3月11日14時46分
震源地 三陸沖深さ24キロメートル
規模 マグニチュード9.0
最大震度 7（宮城県栗原市）
柏市内の被害状況（平成25年3月1日現在）
人的被害 死亡者1人 軽傷者22人
建物被害 全壊1件 半壊17件 一部破損4702件
道路損壊 143件
水道被害 28件

多くの人の命と生活を、一瞬のうちに奪った東日本大震災。その傷は今も癒されることはない。平日の午後の地震で、都内に通う多くの人が足を奪われた。会社や都内の施設で一泊を強いられた人も多かった。中には、都心から歩いて帰ったという剛の者もいるが、30キロメートル余の道は遠い。遠く離れたこの地域にも被害はもたらされた。我孫子では液状化被害があり、柏でも壊されてブルーシートに覆われた屋根が見られた。地震と津波による直接の被害とは別に原子力発電所の崩壊による放射能汚染がこれまでに見られなかった被害である。風向きによって柏は嫌な意味でのホットスポットになってしまった。形に現れないだけに、不安も大きかった。放射線量測定器など、普段の生活では思いもよらなかったものが持ち出され、行政だけでなく、松葉町の各町会や自治会も市と協力し、放射線量測定や除染を行なった。誰も想像すらしたことのない津波。命も家も一気にのみ込んでしまった。自然の脅威ではあるが、余りにもむごすぎる。津波は原発の事故を引き起こした。想定外と言いが、想定されていないかもしれないことだった。（編）



2丁目バス通りの地金堀側の除染作業 柏市役所提供
表土を削るなどの作業が行われた



放射線量測定・除染とも柏市の協力のもと5-1管理組合
自治会、自主防災組織が合同で行った(平成24年8月・10月)



都心から歩く

交通機関が不通になり、家族のことが心配で家まで歩いて帰ることにした。

東京・竹橋を18時に出発、バツクを肩から提げ、重い革靴で歩き始める。道路は車で混雑、大勢の人を乗せた路線バスは遅々として進まない。歩道も人でいっぱい。デイスカウントショップでスニーカーを買う人や自転車店で価格交渉をする人を見かける。コンビニや亀有警察署でトイレを借りる。お腹はすいていて、深夜営業をしているレストランで食事をしてもいいが、歩くのがつらくなると思い食わずに行く。

22時23分、新葛飾橋を渡り、松戸市に入る。常磐線の電車が橋の手前で止まっている。乗客はここで降ろされたのだろうか。起伏がある地形で疲れてきた脚にはこたえる。アメを配っている人がいて、歩いている人に渡してくれる。一粒のアメで元気が出る。

1時10分、柏市に入る。閉まつた店舗のシャッターがガタガタ音を立てるのは余震のせい。呼塚交差点で6号線から16号線に乗り換える。2時20分、我が家に無事到着。34キロメートル、8時間20分の歩行だった。

5丁目 鈴木秀男

「タイガーマスク運動」が広がる 大相撲で八百長問題 東日本大震災発生 地上デジタル放送移行
平成24年(2012年)度
4月・第20回松葉町チャリティーゴルフ大会
6月・空き店舗の再開発プロジェクト「チーム松葉」結成
8月・第25回松葉町ふるさと祭り
10月・秋のつどい
11月・第25回松葉町文化祭
2月・松葉地区自主防災訓練(880人参加)
天皇陛下心臓手術施設 東京スカイツリー開業 夏の節電期間スタート 東京駅丸の内駅舎復原
平成25年(2013年)度
4月・第21回松葉町チャリティーゴルフ大会
8月・第26回松葉町ふるさとまつり
9月・避難所宿泊体験(63人)
10月・コミュニティカフェ「まっぴらR」開店
秋のつどい
・松葉町三校合同音楽祭
11月・第26回松葉町文化祭
・「助け合い活動」アンケート実施
・食材・食品偽装問題 アベノミクス 富士山と和食がユネスコ文化遺産に登録 「じえいじえい今でしょ」 倍がえし おもてなし
平成26年(2014年)度
4月・第22回松葉町チャリティーゴルフ大会
7月・子供のデイキャンプ
8月・第27回松葉町ふるさと祭り
9月・ごみ出し支援活動「たつちの会」始動
10月・秋のつどい
11月・第27回松葉町文化祭
2月・協議会創立30周年記念式典・記念誌発行
3月・松葉地区自主防災訓練(予定)
消費税率5%から8%に 「STAP細胞」騒動 韓国の客船が転覆沈没事故 レリゴー デング熱 御嶽山噴火 青色LEDでノーベル賞

出合いを重ねて

平成二十四年三月、ふるさと協議会主催の「松葉町の魅力アップを語り合う」座談会に参加、「松葉町は住みやすいが集える場所が少ない」等の意見が出たことからコミカフェプロジェクト「チームまっぴら」を立ち上げ、その後一年半を経て、地域住民の活動拠点となる場所の提供、世代の交流、活動支援を目的に平成二十五年八月に店名「ご縁カフェ・まっぴらR」をオープンしました。多くの皆様から励ましの言葉とご支援を頂き、数々の出合いが生まれ人と人との繋がりのご縁に感謝いたします。まっぴらRの赤い扉を開ければ「新しい出合い」「新しい発見」「美味な料理」があると云われる店作りを目指しスタッフ一同頑張ります。

チームまっぴら 五十嵐 徹



赤い扉を開けると新しい出合いがある

花いっぱい運動



☆環境委員会による花いっぱい運動。両小学校の協力で育った苗をバス通りの歩道に植えました。松葉中学校の生徒も手伝ってくれています。初めのころは、夏の日照りに商店会の人達がリヤカーに水を積んで水やりしてくれました。今は環境委員が世話をしています。左の写真はクリーンデー（編）



松葉町界隈は歴史の宝庫

古墳もお城もあります

引越して来た当初「柏は歴史の無い町」と聞かされた。そんな事はない。中世戦国には、多くの城が造られていた。手賀沼の周囲だけでも10を超す城があった。松葉循環バスの「竹の台」上には「松ヶ崎城」があった。この山には、お城だけではなく、1万年以上前の縄文早期の土器も出ている。

古墳も3基、平安時代の住居跡もある。江戸時代に三郡境のお不動様もつくられ賑わっていた。

野球場の所にも、縄文期の遺跡があったと聞く。地金堀の中段には古代の製鉄関係の跡もあった。周りにも、花の井の神社には素晴らしい彫刻が施されているし、吉田家住宅は国の文化財になっている。とにかく面白いものがいっぱいある。

1丁目 川上利男



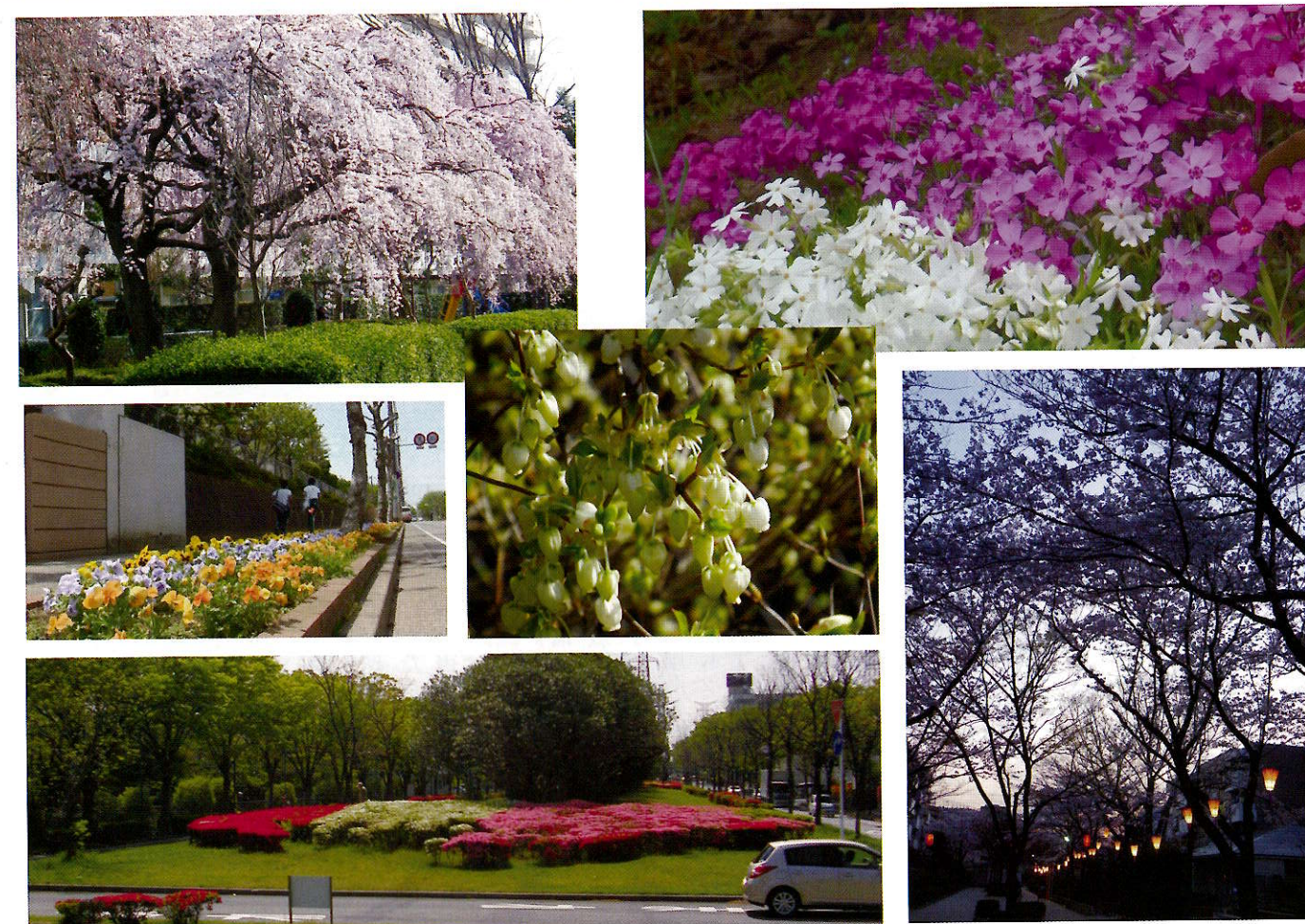
松ヶ崎城跡南側土塁。春には十二ひとえ、夏は山ゆりなど、花もいっぱい

松葉町の四季



松葉町の四季

松葉町の四季



松葉町の四季

松葉町地域ふるさと協議会とは

● 住民の皆様とふるさと協議会の関係図 ●

柏市は昭和29年の誕生から、わずか30年で約10倍に人口が急増しました。この新住民の大量流入で、市の機構だけでなく、町会なども従来の組織ではスムーズなコミュニケーションが図れなくなってきました。新旧住民の融和を図るとともに、新しいコミュニティ作りを目指して昭和50年頃から展開されたのが「ふるさと運動」で、運動を進めるために地域毎に「ふるさとづくり協議会」が作られ、拠点として「近隣センター」が建設されました。

松葉町では入居開始4年後の昭和59年に協議会が設立され、62年に近隣センターがオープンしました。他の地域が新旧住民の融和と新旧組織の整合が大きな問題だったのに比べ、松葉は全国から集まった人が一斉にスタートした街だったことから、住民の融和と新しいコミュニティ作りが目標を絞る事が出来ました。

協議会は、町会や自治会、管理組合などの地区組織と、青少年協、民生児童委員、母子福祉推進委員、老人会、更に商店会など、様々な団体によって構成されています。各組織から出された代議員によって、事業計画や予算が決められ、総会で選出された役員と、各町会や団体から選ばれた委員によってお祭りを始めとする多くの事業が行なわれています。

柏市には20のふるさと協議会があり、連合会が作られています。市とは定期的に会合を開き、要望などをあげていますが、松葉の協議会単独でも様々な要望などを伝えるとともに市とのコミュニケーションを図っています。

少子化、高齢化など、時代とともに地域の在り方や要望も変わって来ます。協議会は、地域の現状にあった事業、街づくりを皆さんとともに進めて参ります。

ふるさと協議会が行っていること

松葉町18町会の諸活動をサポートしている松葉町地域ふるさと協議会は年間を通じて様々な事業を行なっており、大別すると、ふるさと祭り・文化祭などの「親睦・交流活動」、松葉地区社会福祉協議会としての「福祉活動」、秋のつどいなどの「福祉活動」、さらに、18町会が協議・協力して行う地域内危険箇所の改善や防災訓練などの「安全活動」、クリーンデー・松葉小中学校道路わき花壇の植栽及びゴミ処理問題などの「環境活動」が主たる活動です。

◆「親睦活動」

各町会個別によるイベントを協議会規模にまとめることでスケールメリット効果が大きくなります。

- ・チャリティゴルフ大会
- ・ふるさと祭り
- ・三校合同音楽祭
- ・グラウンドゴルフ大会等

◆「福祉活動」

社会福祉協議会の活動として、主に高齢者を対象とした活動です。

- ・おしゃべりサロン
- ・介護相談・七夕まつり
- ・秋のつどい
- ・ふれあい音楽会
- ・男の料理教室
- ・車椅子の無料貸出し等

◆「安全推進活動」

大規模な災害に対する防災活動及び交通安全を推進する活動です。

◆「環境改善活動」

主に松葉町内の環境を改善し美化する活動です。

◆「広報活動」

「広報まつば」の発行、ホームページによる広報活動。

また、この様な事業を積極的に周知すべく、広報まつばやホームページを通して「広報活動」も行なっています。これらの様々な活動は、18町会・自治会・管理組合の皆様によるご理解とご支援の賜物であり、これを基盤として進めています。

松葉町地域ふるさと協議会

「ふるさと運動」の推進、地域の活性化、住民の生活の向上、地域の発展に貢献します。

〒277-0841 千葉県柏市松葉町1-1-1 松葉町地域ふるさと協議会

TEL 0476-7123-4828 FAX 0476-7123-4829

E-MAIL furusato@point.ne.jp

ホームページ: <http://www4.point.ne.jp/~furusato-matuba/>

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

お問い合わせ: 019961

その結果、活動要員も確保され、経費削減や事務の効率化、設備利用の効率化等が行え、現在、おしゃべりサロン、ふれ合いコンサート、七夕まつり、秋のつどい、料理教室、介護相談の他、車イスの無料貸し出しや障がい者との交流などの様々な活動を進めています。

組織の一体化により、社会福祉に対する活動を併せ持った新たなふるさと協議会として姿を整え、今後も住民の要請、時代の要請に応えるよう活動を進めます。

松葉地域も高齢化が進み、住民より住み慣れたこの地域で安心して暮らせるよう福祉の充実に期待が高まり、ふれ合いや支え合いのある社会福祉の向上を目的として、平成十三年に松葉地区社会福祉協議会（地区社協）が設立されました。設立後しばらくは、ふるさと協議会と独立した組織として活動し、内容の充実に努力してきましたが、年々、実行委員の確保が困難になってきました。

この背景には、松葉地域内に、町会・自治会・管理組合などの他、老人会、子ども会、青少協、健康づくり推進、スポーツ振興推進、さらには、交通関係、小中学校関係など、多数の人々が必要とされていることにありました。この状況は、他の地区社協でも同様で、大きな悩みとなっていました。

柏市社会福祉協議会より、ふるさと協議会と地区社協を一体協働化してはどうかと提案があり、ふるさと協議会、松葉地区社協、柏市社協の三者で協議を重ねた結果、平成二十年度から地区社協の役割を併せ持ったふるさと協議会の下で活動の全般に渡って一体化することになりました。

松葉地区社会福祉協議会としての役割

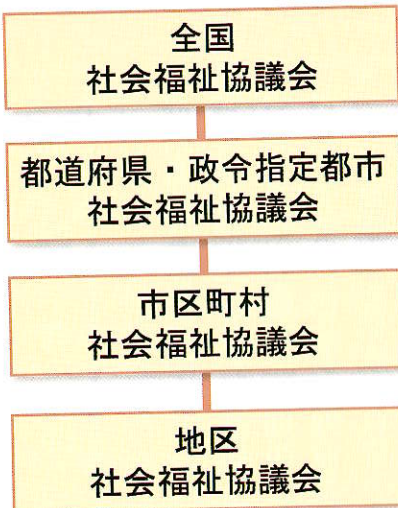
社会福祉協議会は、民間における社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない福祉法人格の民間組織です。

昭和二十六年に制定された社会福祉事業法（現在の社会福祉法）に基づき、設置されています。

社会福祉協議会には、全国社会福祉協議会を筆頭に、都道府県社会福祉協議会や市区町村社会福祉協議会などがあります。また、市区町村社会福祉協議会の元に地区社会福祉協議会が地域の事情に応じて設けられ、松葉地区社会福祉協議会は、福祉法人格を持たないもののこれに該当します。

社会福祉協議会は、地域に暮らす皆様のほか、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人などの社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れた街で安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動を行っています。

社会福祉協議会の種類



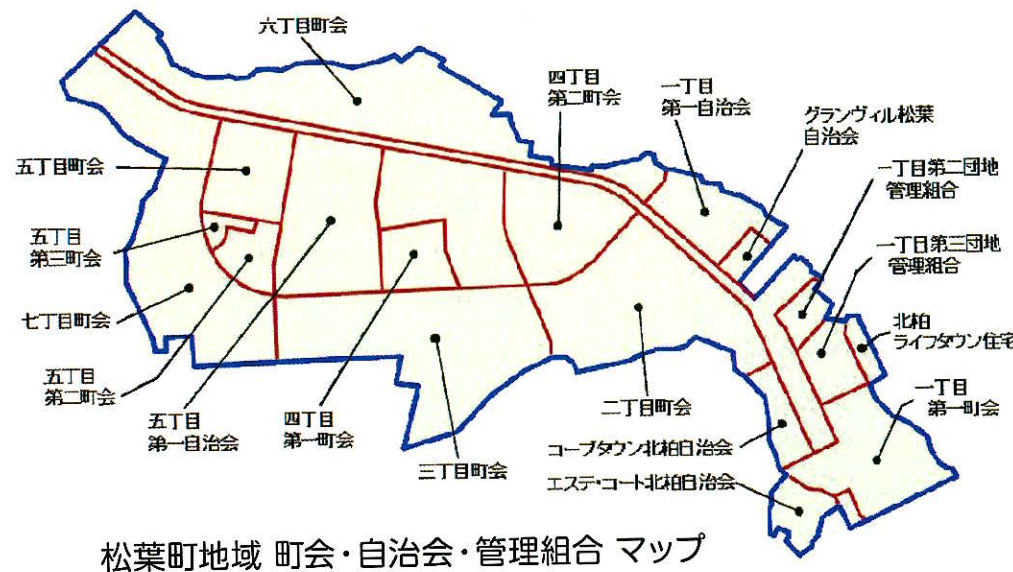
松葉町地域ふるさと協議会に加入し、街づくりにご支援くださっている町会、自治会、管理組合、および、関連団体の皆様についてご紹介いたします。

加入町会名・自治会名（16）

- 一丁目第一町会
- 一丁目第一自治会
- グランヴィル松葉自治会
- 北柏ライフタウン住宅
- コープタウン北柏自治会
- エステ・コート北柏自治会
- 二丁目町会
- 三丁目町会
- 四丁目第一町会
- 四丁目第二町会
- 五丁目町会
- 五丁目第一自治会
- 五丁目第二町会
- 五丁目第三町会
- 六丁目町会
- 七丁目町会

関係団体（17）

- 松葉地区青少年健全育成推進協議会
- 松葉地区民生委員・児童委員協議会
- 松葉地域柏市民健康づくり推進員
- 松葉町商店会協同組合
- 松葉中央商店会
- 松寿クラブ
- 松葉町ふれあいサークル
- 松柏クラブ
- 睦会
- さつき会
- 松葉第一小学校PTA
- 松葉第二小学校PTA
- 松葉中学校PTA
- 柏市スポーツ推進委員
- 柏市消費生活コーディネーター
- 柏市少年補導委員
- 柏市青少年相談員



松葉町地域 町会・自治会・管理組合 マップ

ふるさと協議会に加入している町会・自治会・管理組合の所在位置

地域自治代表部会

地域自治代表部会は、地域加盟の十八の町会・自治会・管理組合などの代表者により構成され、地域全体の課題・問題などについて、個々の町会の枠を超え、協議を重ね対策を講じています。

〈近年の活動事例〉

- ① けやき通り歩道の危険な凹凸箇所調査と危険箇所の改善要望
- ② 松葉中西側変則交差点の交通量調査と、同交差点の拡幅要望
- ③ 被災時対策として、安否確認用黄旗や簡易トイレ用便袋、地域全体で交信可能な高性能トランシーバーなどの共同購入
(賛同町会による共同購入)
- ④ 地域全体における防災・減災を目的とした松葉町自主防災組織連絡会をふるさと協議会から独立した組織として、平成二十三年度末に設立。

このように、当部会は、より良い地域環境の創成のため、地域の代表者が一同に会して活動しています。

福祉部会

福祉部会は、高齢者部会と共に松葉地区社会福祉協議会の役割を持って活動している部会です。

当部会は、地域住民同士の支えあいや助け合いを通して、住民の福祉向上を目指し、松葉地域活動センターや北柏包括支援センターのご協力・ご支援をいただきながら、町会・自治会・管理組合から選出された方々と、民生児童委員・健康づくり推進委員の方々により様々な福祉活動を行っています。

これらの様々な活動は、イベントを通してふれあい活動と、人と人を結びつける育成・ネットワーク活動に大別され、これらの視点で意義ある活動となるように進めています。

イベント・ふれあい活動としては、七夕まつりやふれあい音楽会を行っており、また、育成・ネットワーク活動としては、男の料理教室や地域の福祉的課題を見つめ糸口を見出すための講演会などを行っています。

これらの活動を通して世代間の交流を図るなど福祉環境の充実に務めています。

高齢者部会

高齢者部会は福祉部会と共に松葉町地域の福祉向上のために活動しています。各町会、自治会、管理組合から選出された方々と民生委員児童委員、健康づくり推進員で構成されています。

活動計画は、五年ごとの福祉に関する地域の課題を話し合い、重要なテーマを取り上げて計画を立てています。

- ① 助け合い活動の立ち上げと実践、
- ② 世代を超えた居場所づくり、
- ③ 子育てからの地域づくりを柱に取り組んでいます。

恒例となっている活動は「おしゃべりサロン」「介護相談」で、近隣センターや松葉町一丁目ふるさと会館で開催しています。「秋のつどい」は六十五歳以上の方を対象に交流の場として、お茶やお菓子を振舞ってイベントを行っています。その他に、夏祭りの際の「高齢者等の休憩所」、「車椅子の貸出し」、助け合い活動としての「ゴミだし支援」に取り組んでいます。

住民のみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

総務安全委員会

総務安全委員会は、その名称が示すように総務的事業と安全に関わる事業を担当する委員会で、原則十八町会より選出された委員により行事の企画・運営を行っています。

主な活動は、ふるさと祭りにおける会場警備や車両通行規制、花火会場周辺の警備などを始めとして、自主防災組織連絡会との協働による地域全体での防災訓練の実施などを行うと共に、新年早々に、松葉町の街づくりにご協力下さっている地域の皆様にお集まりいただき新春のつどいを行っています。これららの行事を進めるにあたり、委員のみでは無理な面もあり、地域の消防団の皆様による絶大なご協力をいただいております。

毎年、十六から十八名の委員により前述の事業を進めつつ、他の部会・委員会が主催する行事のお手伝いなども併せて行っています。

東日本大震災以後も大規模地震が懸念されていますが、街作りの絆を底力とし、住みやすい街、そして安心できる街を目指して活動を続けます。

文化体育委員会

文化体育委員会の活動は、青少年健全育成推進協議会、柏市スポーツ推進委員の協力を得て、主に十一月の文化祭や体育祭などの行事について企画運営を行っています。

回を重ねて行ってきた文化祭は、平成二十六年で二十七回目を迎えました。囲碁・将棋大会や、書道・絵画・写真・手作り人形・お花等の展示会、及び合唱・楽器演奏等による音楽会、詩吟や踊り等の芸能会からなり、松葉町地域の方々による文化活動の披露やサークル活動の発表を行っています。

体育祭では「グラウンドゴルフ大会」を子供たちからお年寄りまで、ご家族・お友達など、毎回百六十名近くの参加者が集い、日頃の腕前を競い合い、最後にそれぞれの賞を発表して楽しい交流の大会になっています。

また、夏の「ふるさと祭り」では、盆踊り、子供みこしコンクルの運営を担当し行事の進行を務めています。

その他、ふるさと協議会で行っている各活動にも委員の方々が力を合わせ参加しています。

環境委員会

環境委員会は、松葉町地域の環境保全の推進を目的に地域の方々や学校及びPTAとの連携を図って活動を行っています。

また、ごみ分別の勉強会や啓発活動にも力を入れて違反を減少させ、リサイクル率の向上に繋がる活動も展開しております。

主な活動内容を紹介いたします。

- ◇ 5月「ゴミゼロ運動」
- ◇ 7月「中学校前バス通り花壇の苗植え(松中生徒と共同)」
- ◇ 7月「中学校前バス通り花壇の散水(中学校PTAと共同)」
- ◇ 8月「松葉町ふるさと祭り会場におけるごみ収集と分別処理」
- ◇ 11月「文化祭での、ごみ分別の啓発活動、リサイクル品の製作」
- ◇ 11月「松葉町クリーンデー」
- ◇ 12月「近隣の環境施設見学会」
- ◇ 12月「中学校前バス通り花壇の植替え」

(松中生徒と共同)

これらは、学校や行政の協力をいただき、町会・自治会・管理組合から選出された委員により行っています。

平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度	平成12年度	平成11年度	平成10年度	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度
○										○										○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予定	×	○	○	×	○	○														
予定	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	松葉地区 社会福祉協議会で実施				○	○	○						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○													
○																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成5年度	平成4年度	平成3年度	平成2年度	平成元年度	昭和63年度	昭和62年度	昭和61年度	昭和60年度	昭和59年度	昭和58年度	昭和57年度	昭和56年度	活動年度 活動項目
						近隣センター開所				松葉近隣センター設立準備会発足	○		(入居開始)
													ふるさと協議会・周年記念式典
○	○	○	○	○									新春のつどい
○	○	○											チャリティーゴルフ大会
													防災訓練
													シバザクラ祭り(桜フェスタ)
○	○	○	○	○	○	○							代議員定期総会
○	○		○	○	○		○						(柏市)ゴミゼロデー
	○												(松中前)花壇整備活動
													七夕祭り
○	○	○	○	○	○								ふるさと祭り
													秋のつどい
													松葉町三校合同音楽祭
○	○	○	○	○	○								文化祭
○	○	○	○	○	○	○	○						グラウンドゴルフ大会
○	○												(松葉町)クリーンデー
○	○	○											ふれあい映画／遊び

※凡例 ○印は実施を、×印は中止を示します。

ふるさと協議会・歴代役員一覧

平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成9年	平成8年	平成7年	平成6年	
藤田 武志	藤田 武志	吉田 宏	吉田 宏	三浦 里浩	三浦 里浩	三浦 里浩	三浦 里浩	土蔵 紘一	土蔵 紘一	末継 重利	会 長
稲村 利治	木村 仁	藤田 武志	永嶋 啓二	吉金卓一郎	横山 順造	横山 順造	五十嵐 徹	高田 直寛	高田 直寛	高田 武夫	副 会 長
庄本 豊	庄本 豊	庄本 豊	藤田 武志	谷口 忠浩	吉金卓一郎	吉金卓一郎	谷口 忠浩	谷口 忠浩	原口 俊郎	菊池 章夫	
新木 隆司	寺尾 直宏	太田 真一	五十嵐俊生	藤田 武志	高田 直寛	五十嵐 徹	横山 順造		五十嵐 徹	渡辺 信明	
秋元 康雄	稲村 利治	木村 仁		福岡 英寿	谷口 忠浩	高田 直寛	吉金卓一郎		谷口 忠浩		
志賀 保文	濱野 明雄	濱野 明雄		花井 文明		谷口 忠浩					
森本 憲一	新木 隆司	新木 隆司									
福元 浩		飯田 勝男									
中塚 啓一	中塚 啓一	寺尾 直宏	寺尾 直宏	児玉 有司	児玉 有司	児玉 有司	高田 直寛	五十嵐 徹	渡辺 信明	土蔵 紘一	事務局長
			寺尾 直宏	加賀谷良一	加賀谷良一	加賀谷良一	和田 高弥	鈴木 秀男	鈴木 秀男	榎本 浩一	広報部長
寺尾 直宏	永嶋 啓二	芝原 達	芝原 達	喜多川 旭	喜多川 旭	喜多川 旭	原口 俊郎	榎本 浩一	榎本 浩一	吉金卓一郎	監 事
齋藤 敏文	吉田 宏	永嶋 啓二	村田 武弘	横山 順造	五十嵐 徹	森垣 利夫	森垣 利夫	工藤 鈴夫	工藤 鈴夫	谷口 忠浩	
濱野 明雄	齋藤 敏文										
								浜田 親雄	浜田 親雄	浜田 親雄	顧 問
								川上 利男	川上 利男	川上 利男	
								末継 重利	末継 重利		
			溜川 良次	杉山 達家	花井 文明	花井 文明	溜川 良次	三浦 里治	三浦 里治	三浦 里治	地域自治 連絡部会長
五十嵐 徹	五十嵐 徹	溜川 良次									地域自治 代表部会長
栗林 達也	新井 明	磯野 康博									総務安全 委員長
			岩田 作	福元 浩	鐘ヶ江達也	鐘ヶ江達也	鐘ヶ江達也	児玉 有司	児玉 有司	山中 修二	教育文化 委員長
			池田 広和	芳野 栄	藤田 武志	藤田 武志	干場 信正	飯田 均	染谷登美男	五十嵐 徹	体 育 委員長
井上 周一	秋元 康雄	福川 貞明									文化体育 委員長
				吉田 宏	吉田 宏	藍原 住光	伊藤 満	伊藤 満	伊藤 満	海老原天生	福 祉 委員長
峯村 英雄	笹本 芳文	稲村 利治	澤田 賢治	木村 守	福岡 英寿	福岡 英寿	福岡 英寿	福岡 英寿	渡田 実	渡辺 茂宣	環 境 委員長
			滝 順一	渡辺 賢一	渡辺 賢一	渡辺 賢一	渡辺 賢一	横山 順造	横山 順造	横山 順造	近隣センター 運営委員長
									高山 眞美	高山 眞美	防犯交通 安全委員長
			太田 真一	昆 典夫	福原 新一	福原 新一	梶原 亘	友田 隆			防 災 委員長
									大蔵 隆史	大蔵 隆史	特 別 事 務 局 長
戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	会 計

ふるさと協議会・歴代役員一覧

平成5年	平成4年	平成3年	平成2年	平成元年	昭和63年	昭和62年	昭和61年	昭和60年	昭和59年	昭和58年	
末継 重利	浜田 親雄	浜田 親雄	川上 利男	川上 利男	村井寿太郎	高田 保典	高田 保典	高田 保典	近隣センター設立準備会代表 高田 保典 高田 保典		会 長
菊池 章夫	高田 武夫	高田 武夫	高田 武夫	下尾 晃生 山口 達夫	杉山 達家	村井寿太郎	部会長兼務	溜川 良次	溜川 良次	副代表 大蔵 隆史	副 会 長
吉金卓一郎	末継 重利	末継 重利	大蔵 隆史	木村 仁 (途中交替)	松本 烈	溜川 良次		松本 烈	松本 烈	副代表 内田 勝規	
榎本 浩一	榎本 浩一	中村 志郎	山口 達夫	杉山 達家 (途中交替)	木村 仁	大坪 隆一					
土蔵 紘一	大蔵 隆史	大蔵 隆史	浜田 親雄	浜田 親雄	川上 利男	川上 利男					事務局長
鈴木 秀男	鈴木 秀男	鈴木 秀男	鈴木 秀男	青山 茂	青山 茂	部長 伊藤 一博	溜川 良次	溜川 良次	溜川 良次	広報担当 田代 真人	広 報 部
						監事			監査		監 事
高田 武夫	川上 利男	川上 利男	松浦 明	富田 信男	沢田 四郎	沢田 四郎	村井寿太郎	榎本喜代治	榎本喜代治		
大蔵 隆史	山口 達夫	山口 達夫	末継 重利	高田 武夫	三浦 里治	保坂 晃二	榎本喜代治	根本 正二	根本 正二		
											渉 外
										久保寺文雄	
高田 直寛	高田 直寛	菊池 章夫	福原 新一	浜田 親雄	内田 勝規	内田 勝規	部会長 内田 勝規	内田 勝規	松本 烈	総務担当 松本 烈	地域自治 連絡部会長
谷口 忠浩	谷口 忠浩	谷口 忠浩	佐々木一樹	佐々木一樹	佐々木一樹	委員長 青山 茂	青山 茂	青山 茂	教育文化部会長 青山 茂		教育文化 委員会
北原 文成	北原 文成	北原 文成	鎌田 紘志	堀 昌二郎	大蔵 隆史	大蔵 隆史	委員長 大蔵 隆史	保健体育部長 大蔵 隆史	岡田 安弘 大蔵 隆史		体育委員会
渡辺 茂宣	小林 俊雄	西本 章治	佐野 博	佐野 博	佐野 博	委員長 佐野 博	佐野 博	生活環境部会長 上田 満男	上田 満男		環境委員会
							中村 志郎	近隣センター部会長 中村 志郎(途中交替)			近隣センター 委員会
西本 章治	西本 章治	伊藤 澄夫	高木 亮一	加藤 豊	委員長 溜川 良次						防犯交通 安全委員会
海老原天生	横山 順造	横山 順造	横山 順造	溜川 良次	酒井 光江	委員長 酒井 光江	笹川 三夫	笹川 三夫	福祉部会長 笹川 三夫		福祉委員会
					松浦 明	委員長 松浦 明					大型店対策 特別委員会
高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	高橋 恵子	根本 正二	清水 博充	清水 博充 岡田 安弘	清水 博充	会 計

ふるさと協議会・歴代役員一覧

ふるさと協議会・歴代役員一覧

当近隣センターは、昭和56年4月市民課出張所として現ふるさと協議会の場所
 所で業務を開始しました。地元の活性化に向けたまちづくりの中で皆さんのご
 要望により設立準備会が発足され、昭和62年10月近隣センターとしてオープ
 ンし現在に至っています。館内施設には、市民課業務を中心とした出張所のほか、
 会議室、和室、茶室、調理実習室、多目的ホール及び体育室を備え、併設とし
 て図書館分館での本の貸出利用も始まりました。
 センターの活動はふるさと協議会が主軸となり各町会や自治会等での多種多
 様な行事が催されます。松葉町地域活動の拠点として、さらに近隣地域の交流
 の場として幅広くご利用いただき、バラエティーに富む団体の方々に登録いた
 だき、活動も極めて活発です。
 狭い館内ではありますが、毎日多くの方々と賑わい、お蔭様でセンターの施
 設利用者数や出張所業務の取扱件数、また図書館分館での貸出し利用者数は、
 いずれも市内で3本の指に入るほど高い利用率を誇っています。
 今後も皆様方の活発な活動が継続されるよう、また数々の出会いや交流を通
 じて人材の育成や新しい文化・価値が生み出されるよう施設利用の条件整備に
 努力してまいります。
 また、少子高齢化時代に入り、平成22年11月から社会福祉協議会による松葉
 町地域活動センターが開設しました。暮らしの中の身近な問題について行政間
 で連携し、地域福祉の幅広い要望に取り組んでいます。
 さらに、近隣センターでは今年度、地元の市民活動団体と協働し柏市協働事業
 提案制度事業を実施しています。この事業はセンター事業の一部を協働事業とし、
 地域の方々との交流の機会を拡げ、人材発掘と育成を目的とするものです。現在、
 花壇等の環境整備や館内掲示物の整理、必要情報の発信等の事業を展開中です。
 今後とも松葉町地域の協働の拠点となる課題解決型センターを目指し、お役
 に立つ情報を受発信しながら地域の活性化に取り組んでまいります。

松葉近隣センター



建物概観



図書館



松葉出張所



活動センター



平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	会 長
秋元 康雄	秋元 康雄	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	藤田 武志	副会長
篠塚 孝	五十嵐 徹	五十嵐 徹	五十嵐 徹	丸田 達夫	丸田 達夫	丸田 達夫	稲村 利治	稲村 利治	稲村 利治	
小宮 繁男	篠塚 孝	秋元 康雄	喜多村緑郎	喜多村 緑郎	森本 憲一	細野 徹	丸田 達夫	志賀 保文	秋元 康雄	
土田 慎司	小宮 繁男	篠塚 孝	平山 裕子	平山 裕子	庄本 豊	坪 裕治	細野 徹	森本 憲一	志賀 保文	
平山 裕子	土田 慎司	小宮 繁男	安田 容子	安田 容子	喜多村 緑郎	福岡 英寿	串岡 英雄	丸田 達夫	森本 憲一	
安田 容子	平山 裕子	土田 慎司	小宮 繁男	野寄 順三	平山 裕子	若月 修	坪 裕治	細野 徹	野津 鎮雄	監 事
五十嵐 徹	安田 容子	平山 裕子	篠塚 孝	原田 彰	安田 容子	平山 裕子	末継 重利	泉水 秀樹	丸田 達夫	
		安田 容子				安田 容子	前川 善枝			
							高島 典子			
濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	濱野 明雄	
喜多村 緑郎	喜多村 緑郎	喜多村 緑郎	秋元 康雄	秋元 康雄	秋元 康雄	秋元 康雄	秋元 康雄	秋元 康雄	齋藤 敏文	相談役
工藤 貞儀	工藤 貞儀	杉山 達家	根本 健治	根本 健治	根本 健治	根本 健治	根本 健治	根本 健治		
丸田 達夫	丸田 達夫	稲村 利治	稲村 利治	稲村 利治	稲村 利治					
藤田 武志	藤田 武志	丸田 達夫	丸田 達夫							
					藤田 武志	丸田 達夫	末継 重利			
					木村 浩	中村 博	早川 英子			社会福祉事業本部 事業本部長
					伊藤 米子	早川 英子	豊田 武夫			同 福祉部会 部会長
花井 文明	花井 文明	花井 文明	花井 文明	花井 文明	花井 文明	花井 文明	福岡 英寿	野津 鎮雄	海老原 天生	同 高齢者部会 部会長
田村 正明	田村 正明	田村 正明	田村 正明	明井 紀久夫	福岡 英寿	加賀屋良一	村田 武弘	永嶋 啓二	徳留 弘	地域自治代表部会 部会長
辻本 秀夫	辻本 秀夫	辻本 秀夫	長谷川 幸雄	田村 正明	明井 紀久夫	渡邊 武	加賀屋良一	福岡 英寿	及川 潔	同 副部会長
加納 昇治	中島 通利	高橋 淳子	仁賀木 信行	津野 洋一						
本田 隆正	山根 恭平	大沼 敏男	本田 立也	外谷 優香里						
河内 伸二郎	谷坂 弥助	吉岡 攻	二宮 正夫	小島 正巳	瀬々 秀吉	浅見 初江	山口 功	串岡 英雄	池田 文江	
田中 豊作	鈴木 信行	北原 文成	土田 慎司	小宮 繁男	野寄 順三	紙井 弘明	紙井 弘明	宮原 辰巳	飯島 達三郎	
大作 美代子	横川 昌彦	近藤 康雄	近藤 康雄	中村 正彦	神庭 恵	小池 芳	手嶋 和広	松本 辰三	吉富 明光	福祉部会 部会長
坪 裕治	坪 裕治	坪 裕治	坪 裕治	坪 裕治	坪 裕治	坪 裕治	稲村 利治	中塚 啓一	中塚 啓一	高齢者部会 部会長
戸田 幸子	戸田 幸子		細見 滋	細見 滋	細見 滋	細見 滋	細見 滋	細見 滋	細見 滋	総務安全委員会 委員長
				宮本 勉	宮本 勉	宮本 勉	宮本 勉	宮本 勉	宮本 勉	文化体育委員会 委員長
				中塚 啓一	中塚 啓一	中塚 啓一				環境委員会 委員長
戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	戸田 幸子	事務局 局 長
野田 千鶴子	野田 千鶴子	野田 千鶴子	野田 千鶴子	野田 千鶴子			安田 容子			同 次 長
川橋 周介	川橋 周介	細見 滋	野寄 順三	神代 和幸	神代 和幸	神代 和幸	神代 和幸	神代 和幸	神代 和幸	
野寄 順三	野寄 順三	野寄 順三	立山 雅夫	細野 徹	細野 徹	鈴木 秀男	平山 裕子	平山 裕子	平山 裕子	
中村 雅宏	中村 雅宏	神代 和幸	中塚 啓一				鈴木 秀男			
横川 昌彦	宮本 勉	宮本 勉					迫口 喜代子			
渡部 恒雄										同 会 計
										同 局 員

松葉地区青少年協会は、松葉中学校、松葉第一小学校、松葉第二小学校、柏の葉小学校の四校を母体として、子どもに関わる活動を行っています。その活動は次の様なものです。

4月には、自然や歴史、環境に触れ考える春のハイキングを、7月には、新企画・体験型のサマーフェスタ（デイキャンプ）を、12月には三世代「ふれあいむかしのおそび」を、そして毎月のプレレパークあそびやよの支援、夏季・冬季の愛の一声運動のパトロールを実施しています。

今年から新企画として始めたサマーフェスタについてお話しします。これまで子どもフェスティバルは、異年齢間の交流を目的に行っていましたが、現在の子どものニーズは、自分で考え作ってみると言う行動体験の場の創出ではないかと考え、このデイキャンプ形式のサマーフェスタを企画しました。今年は、初回でしたが沢山の子ども達から応募をいただきました。まだ初めばかりですので課題が沢山ありますがさらに良いものに行きたいと思っています。

以上の様な活動を行っておりますが、青少年を取り巻く社会環境は、物質的な豊かさとは異なり、インターネット・携帯電話等に見られる情報の氾濫、ネグレクトや青少年の貧困化等の大きな変化から、青少年が関わる犯罪が増加しています。そこから見えてくるのは、家庭や地域社会、学校が連携し、心身の健全な成長を促す様々な活動を通じて、青少年が夢を持ち、豊かな人間関係を築ける環境を充実していかなければならないということです。

松葉地区青少年協会は、子ども達のより良い環境作りを行ってゆきますので皆様のご支援をお願いいたします。

松葉地区青少年健全育成推進協議会

サマーフェスタ



春のハイキング



松葉町地域活動センター

松葉町地域活動センターは、平成22年11月松葉近隣センター内に「身近な福祉の相談窓口」として、週3日（月・木・金曜日の午前10時から午後4時まで）開設しました。なお、この活動センターは、柏市地域健康福祉計画並びに柏市地域健康福祉活動計画の重点的取組として、地域づくり・子育て・障がい者・高齢者支援の充実を図ることを目的に設置しています。

主な事業内容は、①福祉の総合相談（子どもから高齢者までの分野を問わない初期相談）、②ボランティアコーディネート（ボランティアを希望する者とボランティア受け入れ側との調整）、③ふるさと協議会や民生委員児童委員等の地域組織との連携・活動支援、④新たな人材育成などがあります。

具体的には、親が脳梗塞後遺症が原因で、介護の必要が出てきた、どうしても良いのか、一人暮らしで話し相手がいない、孤独である、どこか楽しめるところはないのか、ボランティア活動をしたいがどこへ行けば良いか等どんな些細な相談にも乗ります。相談は電話や活動センター窓口で受け付けます。また活動センターではボランティア講座や地元の福祉情報等を掲載した広報誌「ちいき」を年4回発行し、町会等への回覧並びに活動センター窓口での配布、また柏市社協ホームページへ掲載しています。

今後も松葉町地域の皆様方のご理解とご支援を頂きながら、地域活動推進のための支援にまい進し、地域に愛される活動センターを目指してまいります。近くにお寄りの際は、是非お立ち寄りください。お待ちしております。

■公的機関等

ア	松葉近隣センター・松葉町地域活動センター
イ	松葉町交番
ウ	柏松葉郵便局
エ	消防本部西部署
オ	松葉町地域ふるさと協議会事務所

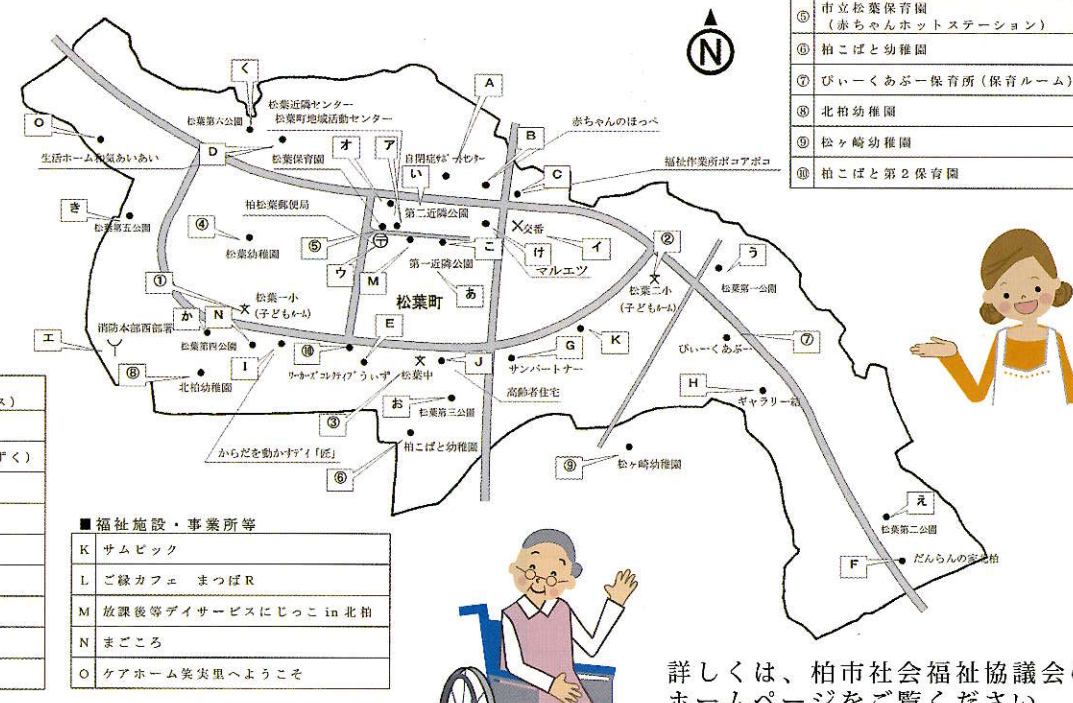
■その他施設

あ	松葉近隣第一公園
い	松葉近隣第二公園
う	松葉第一公園
え	松葉第二公園
お	松葉第三公園
か	松葉第四公園
き	松葉第五公園
く	松葉第六公園
け	マルエツ

■福祉施設・事業所等

A	自閉症サポートセンター（生活工房こだま・ベガサス）
B	赤ちゃんのほっぺ
C	福祉作業所ゴッポコ（ゆめしずく）
D	生活ホーム和気あいあい
E	ワーカーズコレクティブういず
F	だんらんの家北柏
G	サンパートナー
H	ギャラリー結
I	からだを動かすデイ「匠」
J	なごやかレジデンス柏松葉

松葉地域活動MAP



■学校・児童関係施設

①	市立松葉第一小学校（こどもルーム）
②	市立松葉第二小学校（こどもルーム）
③	市立松葉中学校
④	松葉幼稚園
⑤	市立松葉保育園（赤ちゃんホッステーション）
⑥	柏こばと幼稚園
⑦	びいーくあぶー保育所（保育ルーム）
⑧	北柏幼稚園
⑨	松ヶ崎幼稚園
⑩	柏こばと第2保育園

■福祉施設・事業所等

K	サムピック
L	ご縁カフェ まつばR
M	放課後等デイサービスにじっこ in 北柏
N	まごころ
O	ケアホーム美実里へようこそ

詳しくは、柏市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

松葉町自主
防災組織連絡会

会長 花井 文明

地域居住の方々にとって聞き慣れない名称
 と思います。現状では皆様に見えない活動を行
 っていますが、町会等代表者または、各町
 会等防災組織関係の方々にはお馴染みの組織
 となっています。

本会の設立趣旨は、各町会等で設立してい
 る自主防災組織の活性化や、町会単独で対応
 できない大災害時における地域としての減災
 に向けた活動を主眼に置いています。

このため「何が出来て・何が出来ないか・
 何が必要なのか・どうすれば出来るのか」の
 合言葉のもと、平成二十一年に地域自治代表
 部会に設立提案し、了承を受けて後、平成二
 十三年三月に正式発足致しました。

発足時に活動期間として三年間を一つの目
 安とし、一年毎に現状把握期間・研修期間・
 総括期間とすすめ、最終年度に松葉町独自の
 「避難所運営マニュアル」を策定し各戸配布
 するよう計画しておりました。

しかしながら、調整・確認すべき事柄が多
 く、思うように捗らず、三年経過してやっと
 マニュアルづくりに着手したところです。

この間、避難所となる松葉三校との複数回
 の情報交換や、マルエツを含めた両商店会と
 災害時対応についての情報交換を行ってまい
 りました。また、加盟十八町会等が保有する
 防災備品の目録をご提供頂き、地域全体に亘
 る防災関連備品の一覧表を作成し、万一の時
 は隣接町会から緊急借受けできるよう提案し
 ております。

平成二十五年九月には、災害時を想定した
 「避難所宿泊体験（訓練）」を、一泊ながら各
 町会等から六十三名の参加を頂き、近隣セン
 ター体育室で電気・上下水道・ガス等のライ
 フラインが使えない想定で実施致しました。

この訓練の際には、松葉町五丁目第一自治
 会の、自主防災組織の方々による炊き出しの
 労の提供や、木村屋總本店柏工場様から菓子
 パン百食分の無償提供をいただきました。

現在、ふるさと協議会とは別組織となつて
 いますが、松葉町地域防災訓練に対する訓練
 内容の提案をふるさと協議会に行うなど、同
 協議会と協力し、またご支援を頂きながら運
 営しております。

まだ活動半ばの組織ですが、大規模災害時
 の各町会等における初動提案や、減災に向け
 た種々の連携活動の提案、避難所運営マニユ
 アルの策定などを重点的にとりあげ、皆様に
 ご案内できるよう活動しております。



一丁目第一町会

町会長 辻本 秀夫

当町会は、松葉町地域の中でJR北柏駅に近く、住宅公団
 （当時）の分譲地に建築された戸建住宅が主体の約150世
 帯で構成されています。

町会区域内には「松葉第二公園」があり、平成21年3月に
 柏市公園里親制度に参加し、毎月第四日曜日に公園及び周辺
 の清掃活動を行っています。

当町会は、けやき通りに面した所に町会の集会所として、
 また災害対策本部として「ふるさと会館」を所有しておりま
 す。町会の会合場所の無い不便さを解消する為、平成6年度
 から町会員の賛助金を集め、平成7年に土地の購入、平成8
 年に建家を建設しました。

活用状況は、総会・懇親会、毎月の定例役員会を始め、町
 会のカラオケ会、子ども会、毎種趣味の会等々、頻繁に利用
 されています。

また偶数月の第一火曜日に、
 ふるさと協議会の「おしゃべり
 サロン」の会場としても利用さ
 れています。

夏祭りには「焼きそば」と「盆
 踊り」に参加し、町会員の親睦
 を深め、安全で安心して住める
 町会を目指し、頑張る町会です。



一丁目第一自治会

自治会長 吉原 莞

松葉町一丁目第一自治会は、中低層352戸950人程の
 皆さんが平和に暮らしています。自治会最大のイベントであ
 る松葉町ふるさと祭りが毎年開催されますが、やはり子供達
 の楽しみは子供神輿です。子供神輿の団地内巡回とコンク
 ル参加で毎年元氣いっぱい町内に響き渡ります。もう一つの
 イベントは、十二月に開催されるお餅つき大会です。三種類
 ほどのつきたてのお餅を毎年皆さんに振舞っています。

この町が誕生して早くも三十年の歳月が流れましたが、三
 年前の福島原発から漏れ出た放射性物質が、運悪く柏市に降
 り注いでしまいました。三十年間にして最大のピンチです。
 四年程前に発足した自主防災本部が中心となり、除染作業
 を住民一丸となつて行った結果、今では目標の数値に下がり
 つつあります。松葉町で一番早く除染作業を実行したのは、
 一丁目第一自治会だそうです。住民の防災意識が高いと胸を
 張って言える町です。



一丁目第二団地管理組合

理事長 木島 年 幸

私が最初に転居してきたのは、社会人二年目の頃でした。五年ほど生活しましたが、結婚を機に引っ越し、昨年の五月より、二十三年ぶりに戻ってまいりました。

戻ってきたばかりの時は、除染で目の前の公園の芝がはぎとられ、土埃のひどい時がありましたが、最近では芝も元通り、青々と茂っています。

当団地は、緑が多く、開放的な雰囲気を感じます。自宅前の公園では、太極拳やジョギング、昼は子供たちの遊び場としてにぎやかです。団地周辺に植えられた桜の木は大きく成長し、春には見事な花を咲かせます。照明にぼんやり照らされた夜桜は特に綺麗です。

桜以外にも、梅や枇杷など、実になるものも多いのですが、植栽に関して、日々いろいろと面倒を見てくれる方がいるおかげで、毎年立派な実がなっているようです。先日も団地内にお知らせがまわり、梅の実のお裾分けをいただきました。食いしん坊の私にはとてもありがたいことです。

当団地は、グリーンデイ、クリーンデイがあり、団地内の清掃、草むしりを行なっていますが、参加率も高く、皆さんの住民意識の高さにとっても驚いています。

越えてきて一年と数ヶ月ですが、とても気持ち良く過ごさせていただき、皆様に感謝しております。



一丁目第三団地管理組合

理事長 稲村 利 治

この地に居を構えて既に30年が過ぎてしまった。思い起こせばつい数年前のように思うが、30年余という歳月は住民も、家屋も、風景も大きく変えてしまった。

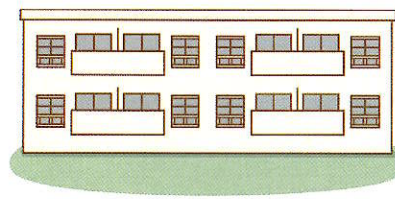
この団地ができて以来住み続けている人は、7割弱と思われるが、その人々もほとんど高齢になり、この地で育った若者も何時の間にか何処かに去ってしまった。

昔休日ともなれば、元気な子供の声が聞こえていたのが、今は昼間でも静まりかえって夜中のような住宅地である。ただ、幸いこの30年間火災等の災害にも合わず、静かで平和に暮らすことができ有難い。

この住居も人々と共に老化しつつあるので皆で話し合いを重ね、大改修は三度、それぞれの破損した箇所は毎年補修を行なっているが大きく老化したライフライン等の改修は近々実施しなければならない。

そればかりではなく、居住する人々の生活面で起こるかもしれない災害等の不安は、住民の高齢化と共に増加してくるかもしれない。このことを思うと近隣の方々とのコミュニケーションを図ることは増すばかりである。

これらを担ってくれるのが、最近増々整備されつつある「ふるさと協議会」であり、松葉町に住む多くの人々の生活のため各町会、自治会、管理組合と共に協力しながら発展させなければならないと思う。



グランヴィル松葉自治会

自治会長 藤井 照 彦

松葉町地域ふるさと協議会創立三十周年、おめでとうございます。

今年で二十一年目を迎えました。

現在、九十四世帯の入居があり、周りの町会・自治会に比べ、単一のマンションそのもので自治会・管理組合を運営している点がグランヴィル松葉の特徴です。

また、南側全面には高い建物がなく、低層階からも、夏の手賀沼の花火が遠くながら、観賞できるのも特徴です。

松葉町地域は柏市の中でも、豊かな緑が自慢できる地域であり、四季の移ろいを感じさせてくれる地域でもあります。

春の各公園の美しい桜。地金掘り一帯の桜も大変風情があります。初夏のけやき通りの櫟の緑は、まさに目にしみる風景です。夏の松葉町緑地の蝉時雨に、夏本番を毎年感じる方も多いのではないしょうか。秋の木々の紅葉も目を楽しませてくれます。

このような緑豊かな街並みを、次の世代に引継ぎ、松葉町地域を心から誇れる街にしていける事が、我々大人の使命だと思います。

これから四十周年、五十周年と迎えられるよう、松葉町ふるさと協議会がますます発展し、松葉町ふるさと祭りをはじめとする各種行事が、地域住民と一体となって発展していく事を、心からお祈り申し上げます。



北柏ライフタウン住宅

住 民 代 表

当団地は、北柏駅から徒歩圏内にあり、都心への通勤・通学に便利などところに立地している築後三十数年を経過した賃貸住宅で、賃貸住宅であることから、転勤等による住人の転出・転入が多く、当初から町会あるいは自治会という自治組織を持つておりませんでした。

しかし、今から十数年ほど前に地域の方々のご助言と居住者の努力により、暮らす上で話し合う必要が生じた折に住民同士が集まる場を設け、現在も、その場を介して意見交換や問題の解決に努めております。

防犯や防災、さらには高齢化が進み、地域社会の一員として果たすべき役割がますます重要になっていると感じるものの、住人の入れ替わりが多いこともあって、積極的な活動を行うことの難しさがありますが、松葉町ふるさと祭りなどの楽しい地域イベントもあり、これからも微力ながら地域の一人としてつとめてまいります。



コープタウン北柏自治会

住人 甲斐 哲

コープタウン北柏は、公団がコーポラティブ方式で入居者を募集するユニークな方式でスタートしました。全体では二十一棟のテラスハウスに八六戸の世帯が住んでいます。最初の入居時からおよそ半数の住人が変わりましたが、当初のコーポラティブの精神や特徴はまだ残っています。

団地の名前の付いたバス停近くに、芝生の小公園があり、イベントや軽い運動等にご利用されています。この一角には防災井戸と既存のベンチを改良したカマドベンチがあります。夕時などは、この井戸小屋を囲んで談笑したり、飲み会をすることもあります。この井戸はNHKで紹介され、「ミニ防災拠点」として今後とも発展させる予定です。

様々な場面で利用される集会所の六本の柱には「向上、友愛、平等、調和、協同、自助」という管理の六原則の文字が刻まれています。今後ともこの原則を大切に、より住みやすい終の棲家を目指したいと思っています。



エステ・コート北柏自治会

自治会長 花井 文明

私共自治会の所在地は松ヶ崎町会ではありませんが、学区や生活圏が松葉町を拠点とすることで、居住者投票による判断で、平成九年に「松葉町地域ふるさと協議会」に越境参加することになりました。

会員数は中規模の230世帯で、居住者は約600名の自治会です。現在では当初入居者の転居が三割程見られ、その後転入された世帯は比較的若い世代で、現在は40歳代をピークとした年齢構成になっています。

自治会の主な活動は、「餅つき大会」、「茶話会」等を実施しています。しかしなんとと言っても「ふるさと祭り」は自治会関係者他総出に拠るお祭り広場への出店で、ジャガバターやフランクフルト、ヨーヨー釣り等は、毎回完売してしまう程の大盛況です。

一方、災害時の減災へ向けた活動も進行中で、既存自主防災組織の行動計画の見直しも協議して行く事としています。

今後とも地域の皆様からご教示を頂きながら、活動してまいりますので、今後ともご支援頂けるようお願い致します。



二丁目町会

町会長 長谷川 眞一

当町会は、松葉町の中心部に位置し、142世帯の会員により構成され、平成27年に30周年を迎えます。設立時の目標である明るい、暮らしやすい町づくりを継承し、「近隣顔見知り」「あいさつ」「和」をスローガンに、各種の親睦会や行事等を行ってきました。

年間行事は、ふるさと祭り、防災訓練、グランドゴルフ大会、ゴミゼロ運動、年末の餅つき大会などを実施しています。餅つき大会は、平成4年より恒例行事として毎年盛会に行なっております。

特に住民ふれあいの場として、昭和62年に「二丁目町会納涼まつり」を開催し好評を得たことから、翌年夏に「第一回松葉町ふるさと祭り」へと繋がった経緯があります。

また、当町会から松葉町の命名者も輩出しており、松葉町の歴史作りに貢献された方々が多くおられます。

今後も諸先輩の意を継承し、町会運営に努めてゆきます。



三丁目町会

町会長 丸田 達夫

当町会にとつてうれしいことは、若い世帯の数が急増したことです。かつては子供たちだった世帯のUターンや、新しい住宅がたくさん建てられたことによるものです。こういった傾向は特に高齢者層の多くに、心強い安心感を与えてくれています。一般論になって恐縮ですが、今の若い世代では感性主導型の一面が強く打ち出され、かつての「よい」「悪い」「正しい」「正しくない」といった論理的な判断が、若い世代では、「好き」「きらい」、「面白い」「面白くない」など、きわめて直感的で主観的なライフスタイルとなって定着しています。時の流に沿って住民の価値観が変化するのは当然です。極論ですが、高齢者層が若者層に学ぶことも共存共栄の社会の受け皿として大切でしょう。

私たちの町会では個性化・多様化する各世代のライフスタイルが自由に存立できるような共通の基盤を創り上げることが目標にしています。これが三丁目町会の「顔の見える町づくり」ということで、対話・交流・人間の暖かさを何よりも大切な要素にしています。

このほか当町会の特記事項として松葉第三公園が町会内に立地するため、柏市の公園里親制度により当町会が公園を維持管理しています。子どもの遊び場を含めて園内全域の刈り込みや草取り、そしてゴミ焼却場への搬送など、膨大な仕事量をみんなで力をあわせて頑張っています。



四丁目第一町会

町会長 伊藤 博

昭和五十六年に入居をはじめて三十三年が経過しました。町会の発足はやや遅れて八年後の平成元年になります。

戸数は六棟二百十五世帯と中規模で、現在空き室を除く二百七世帯で組織されています。

ライフタウンの中心にあり、近隣センターやスーパー、商店街、公園、野球場等が近くにありま。

昔は年一回、野球場で棟別対抗のソフトボール大会をやっていたんですが、年齢層が高くなって選手が集められなくなり、やめて久しくなります。

松葉町全体の高齢化と同様、我が町会も六十代が年代別で多数を占めていますが、平成四年に六十歳以上による集まりとして、「さつき会」ができ、現在四十余名の会員を有しています。花見会、バス旅行、映画会、麻雀等活発に活動しており、町会役員も準会員として参加して支援を行っております。

町会では会員相互の親睦を深めるため、夏祭りへの積極参加や歩こう会、グラウンドゴルフ大会、新年会等を実施しています。

高齢化がすすむ中で地震等の災害時に近隣の助け合いが機能するためにも、これらの活動を継続していきたいと思っています。



四丁目第二町会

町会長 菅宮 秀泰

子供たちのかん高い掛け声が響き渡る恒例の「夏祭り」の季節に毎年感じるのは、住民同士のコミュニケーションの大切さです。

当町会の「子供みこし」は、素人が手作りの素朴な作品です。当初は何も飾り付けされていなかった「子供みこし」は、町会の限りある予算の中から毎年少しずつ飾り付けされ、大勢の人に愛されて、今年二十五周年を迎えました。

こうして育てられた「子供みこし」は、ふるさと祭りのコンクールで最優秀賞を度々いただくなど、チームワークの良さを発揮し、参加した子供達には笑顔があふれ、また、支援協力者は肩を抱き合つて喜びに浸りました。まさに、感動の瞬間です。当町会の合言葉は、コミュニケーションを大切にすることであると、この住民になって約三十年の私は、今しみじみと感じています。

町会で行った防災避難訓練の参加者は、世帯数の七十一%強の結果となり、防災に対する住民意識の高さもさることながら、様々な行事を通じて住民同士のコミュニケーションをより深め、お互いに助け合う意識を確かなものとするのが、災害時の減災に繋がると確信しています。今後共、コミュニケーションをさらに深めるための町会づくりをめざしていきます。



五丁目町会

町会長 舟木 由亘

わが町五丁目町会は、世帯数が九十九という小さな町です。高齢化の波の影響をもろに受け、町会運営にいろいろヒズミがはじめています。

そんなわが町にも明るい話題があります。最近若い世帯が少しずつ増えており、町会内に子どもの声が聞えるようになってきました。これを反映してか、三十年来続く町会自慢のクリーンデいの参加者も心なしか多くなってきたように感じています。

また、夏のふるさと祭りでは、飲料水に加えてひかる玩具を「小学生の五丁目店員さん」が販売するという企画をしたところ、かわいいお客の長い行列ができて、子どもも大人も新鮮な体験をしました。

こういうことをきっかけにして、町会の活性化が図られればと思います。今日この頃です。



五丁目第一自治会

自治会長 田村 正明

当自治会も昨年創立三十周年を迎えました。その歴史の中で培われ受け継がれていることに、様々な行事があります。桜まつり、夏まつり、防災キャンプにバス旅行。役員の方々がお骨折りでござり、住民のみなさまの協力があつて、当自治会ならではの活動となっています。

行事を通して町会内で声を掛け合えるつながりを広げ、親睦を深めることを大切にしています。松葉第一小学校と松葉幼稚園の十字路に、「あいさつ通り」の看板を設置した町会でもあります。

「近助」を災害時に活かせるよう、東日本震災の教訓を忘れることなく、管理組合、自主防災組織と連携して取り組んでいます。

そして何よりも、人生の大先輩の世代、働き盛りの世代、若い世代が集まる中、豊かな潤いのある町会へ向けた住民のみなさまの心が宝となっています。



五丁目第二町会

町会長 山本 光信

私たちの団地は、松葉第一小学校西側の中層5階建8棟、住戸数205戸の北柏L.T内では中規模の団地です。団地入口部分には名称碑もなく、初訪問者に対する案内として、バス通りを挟んだ向かい側のコンビニが唯一の目印です。

緑溢れごくありふれた団地風景ですが、私たちには一つ一つに思い入れがあります。①【車道】道路の中央線、出口側の一時停止線、団地内規制速度表示、出入口部分の駐車禁止標識、道路片側駐車、駐車証の車内提示、②【歩道】インターロッキング舗装、木製プランタ、③【緑地】案内看板、掲示板、関係車両以外進入禁止標識、犬の散歩禁止標識、外灯、カーブミラー、斜面保護植栽（芝、玉竜等）、④【ゴミ置き場】注意掲示板、資源ごみ分別札掲示用杭、カラス除けネット、井戸水道栓（洗車可能）等住みよい環境つくりのため、歴代の役員、ボランティアが工夫・努力を重ね、住民の一人一人が協力してきました。



団地入口部分



ゴミ置き場周辺

五丁目第三町会

町会長 唐澤 暁

わが町は北柏ライフタウンの西の端、90世帯のこぢんまりとした町会として発足しました。当時5歳と2歳だった我が家の子供達にとって、松葉町は正しく故郷です。特にふるさと祭りの印象は強いようです。ふるさと祭りという一つの行事が長きにわたって続いている事実は、大変に素晴らしいことです。何故なら、三十年続いた祭りは、その30年の間、松葉町の人達をずっと見てきたことになるからです。一体、何人の記憶の中にこのお祭りが存在するのでしょうか。一体どれだけの人が思い出話に花を咲かせているのでしょうか。

一方、このお祭りが続くかたわらで、御神輿の担ぎ手である子供達の数は減少の一方で近年、わが町会では夏の子供神輿や正月のお餅つき大会が開けません。気が付けば我が家の子供達もいつのまにかふるさとを卒業し、結婚や就職などで松葉町を後にしていききました。写真は、もう20年も前の祭りの時に撮った一枚です。

どうです？素敵でしょう！
でもちよつときみしい。

これから私達の世代が次の世代に残していかなければならないものは一体何なのでしょうか。何れにしろ、それは町の皆で協力することによって初めて遂行することが出来る類のものではないかと思うのですが。



六丁目町会

町会長 宇原 利夫

美しいケヤキ並木と地金堀に沿って東西に細長い戸建て中心の町会で、昭和58年に設立され、現在388世帯になりました。

細長い地形の町内には、防犯のぼり旗が要所要所にひらめいており、昼夜安心安全のウォーキングコースになつております。平成15年に防犯パトロールが発足してから多数の表彰をいただき、現在の活動へとつながっております。

高齢化のすすむ中、防災の関心も高く防災委員会の組織のもとクリーン作戦とセットで小グループ共助の訓練も定着しつつあります。

一方親睦活動も盛んで、春のグラウンドゴルフ、夏祭り参加、暮れの餅つき大会をメインとし、ゴルフの松六会、踊りの松藤会、おとしよりの松寿クラブ等々紹介に紙面が足りません。これからも住みよい町会を目指し、皆様と共に活動してまいります。



七丁目町会

町会長 芝原 達

松葉町七丁目は松葉一小正門横の第四公園の遊歩道から西へ東武バス車庫を経て公設市場方面へ戸建中心の長い町内会です。第四、第五の二つの公園、三丁目、十余二鴻巣、若柴、六丁目町会などと近隣関係にあります。西部消防署と柏市防災倉庫を町内にかかえているのも特徴です。

町会は昭和58年6月に86世帯の人々により設立され、現在320世帯になりました。呼掛けのきっかけは防犯であり、新しい分譲地に点々と建った隣同士の連携の無いところを狙われた空き巣などの犯罪が多かったのです。町会設立時の課題は街路灯の設置とゴミステーションの新設でした。

A B C三つの地域ブロックに13灯の防犯灯を設置したのが最初で「新しい街だから」と市に要請を続け、現在では136灯、すべての電柱にとりつけた外灯（LED）が夜の安全に大きな役割を果たしています。

七丁目の特徴としては地域の特性から近隣町会や生活に密着に結びつく商店会との協力関係が深いことです。町会を結成してすぐの第五公園での町会夏祭りは盛大で、今でも語り草になっています。その後（三丁目町会や中央商店会夏祭りに合流し）現在のふるさと祭りへと引き継がれました。

昨今の少子高齢化社会の中、七丁目町会も高齢化が進んでおります。未来を担う子どもたちが夢を失うことなく健全に成長でき、高齢者が生きがいを持って生活できる町会づくりをすべく、防災、防犯、福祉などと長い視点で提言検討していかねければと考えています。今まで培ってきた暖かい近隣との協力関係を強め、新たな一歩を踏み出したいものです。

創立三十周年記念誌の発行にあたって

おかげさまで、当地域ふるさと協議会は創立三十周年を迎えました。

この節目を機に、今日に至る協議会の足跡を貴重な記録として振り返り、さらに近未来のあり方を模索して行くことが大切です。そのためには当協議会の活動内容を住民の皆さまによく理解していただき、地域社会の発展に対する意識をより多くの方々と共有していくことが必要と捉え記念誌を発行することにいたしました。発行に際し編集構成は二十周年誌を踏襲しながらも、まずは読みやすく、解りやすい記念誌作りを心がけました。

末尾ながら、記念誌の発行にご協力いただいた市長をはじめ松葉中、松一小、松二小の先生、子供たちの皆さま、商店会ほか各位のご協力に深く感謝申し上げます。

三十周年記念誌 編集部会
部会長 丸田 達夫

創立三十周年記念事業 プロジェクト体制

松葉町地域ふるさと協議会 創立三十周年記念事業 実行委員会

実行委員長

秋元 康雄

記念誌編集部会

部会長 丸田 達夫
副部会長 篠塚 孝
部員 川上 利男・鈴木 秀男・濱野 明雄
細見 滋・福岡 英寿・田村 正明
中村 雅宏・工藤 貞儀・川橋 周介

記念式典部会

部会長 藤田 武志
副部会長 喜多村 緑郎
部員 五十嵐 徹・小宮 繁男・土田 慎司
野寄 順三・花井 文明・辻本 秀夫

総務部会

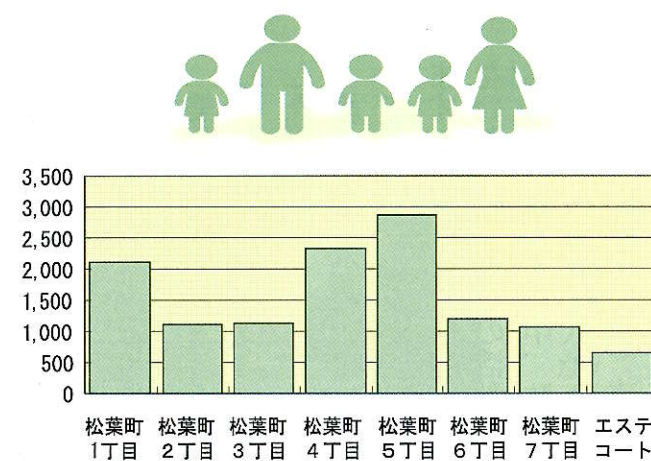
部会長 坪 裕治
副部会長 戸田 幸子
部員 平山 裕子・安田 容子・早川 英子
野田 千鶴子・櫻井 幸枝

創立三十周年記念誌
《松葉町はこんな街》

●発行日 平成27年2月8日
●発行者 松葉町地域ふるさと協議会
会長 秋元 康雄
●編集者 松葉町地域ふるさと協議会
記念誌編集部会
千葉県柏市松葉町4丁目11
TEL 04-7133-4938

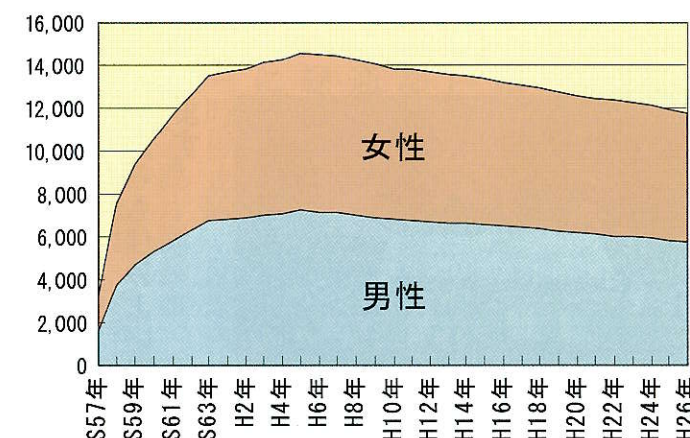
●デザイン オフィスKIRA
千葉県柏市塚崎1325-4-204
TEL 04-7103-3635
●印刷所 有限会社トヨプリントサービス
茨城県取手市上高井564-1
TEL 0297-78-5481

松葉町の人口データ



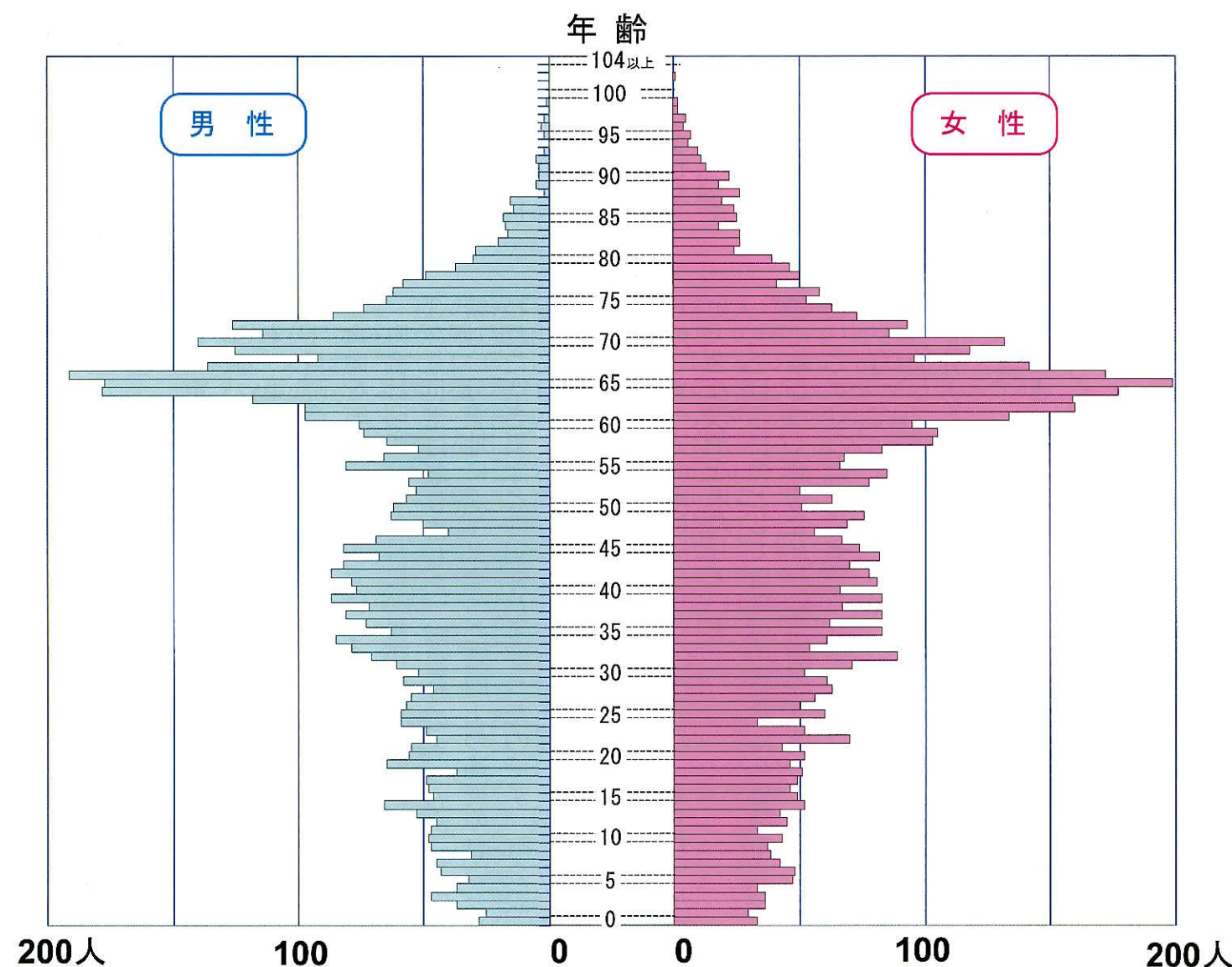
松葉町地域 丁目別人口分布

注：2014年4月1日午前零時値
エステコート地区は4月15日午前零時値



松葉町地域 年度別人口推移

注：エステコート地区はデータが無いため除いている
一部の年を除き4月1日午前零時の人口値



松葉町の男女別人口ピラミッド図

注：2014年4月1日午前零時の人口値
エステコート地区はデータが無いため除いている

松葉町の人口データ